統合ソフトウェア　操作説明書（Device Manager 機能）

目次

統合ソフトウェア　操作説明書（Device Manager 機能） 1
Device Manager 機能について 3
　機能の概要 3
　Device Manager 機能の選択 3
デバイスの登録 4
　デバイスの登録について 4
　デバイスの登録手順（GUI 上でデバイス情報を設定する場合） 5
　デバイスの登録手順（CSV ファイルをインポートする場合） 7
　CSV ファイルのテンプレートファイルをダウンロードする 8
　CSV ファイルの仕様について 8
　デバイスの登録情報を CSV ファイルにエクスポートする 10
　リモートカメラの推奨設定について 11
　ボックススタイルカメラの設定と動作について 11
　スタジオカメラ、マルチパーパスカメラの動作について 12
デバイスの一覧表示と設定値の変更 13
　デバイスの一覧を表示する 13
　リスト表示の説明 14
　サムネイル表示の説明 15
　表示するデバイスを絞り込む 16
　リスト表示に表示する項目を設定する 17
　リスト表示項目の説明 19
　リスト表示上でデバイスの設定値を変更する 22
　リスト表示上でのデバイスの設定値をロックする 24
デバイスのシーンファイル操作 25
　シーンファイル操作について 25
　対応するデータ 25
　PC 上に保存した設定ファイルの取り扱いについて 25
　シーンファイルの Save を行う 26
　シーンファイルの Copy を行う 27
デバイスメニューの操作 30

デバイスメニューを表示する 30
デバイスの操作画面を開く 31
デバイスの Web 画面を開く 32
デバイスの電源を ON にする 32
デバイスをスタンバイ状態にする 33
デバイスの映像記録を開始／停止する 33
デバイスの登録情報・設定を変更する 34
デバイスを削除する 36
グループメニューの操作 37
グループメニューを表示する 37
グループ内の全デバイスの電源を ON にする 38
グループ内の全デバイスをスタンバイ状態にする 39
グループ内の全デバイスの映像記録を開始／停止する 39
グループの表示名を変更する 40
グループ内のデバイス表示順を変更する 41
グループ内のデバイスを別のグループに移動する 42
グループを削除する 43
内蔵 EasyIP Setup Tool Plus 機能 44
主な機能 44
画面の説明 45
Identify 機能 48
Network Settings 機能 49
Auto IP 機能 51
Administrator Registration 機能 53
Firmware Update 機能 54
Activation 機能 57
デバイスリストの表示項目を設定する 60
アカウント権限による機能制限 61
権限による制限の一覧 61

Device Manager 機能について

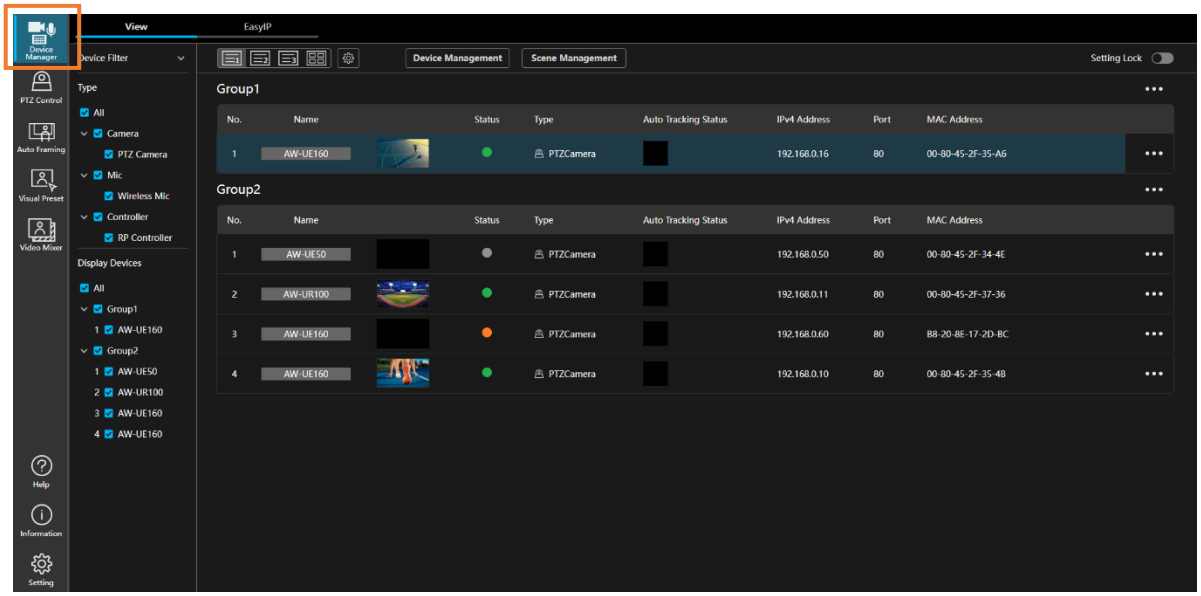
機能の概要

Device Manager 機能は本ソフトウェアで使用するリモートカメラなどのデバイスを管理する機能を提供します。

- Device Manager 機能でできること
  - デバイスの登録／登録内容変更／削除
  - デバイスの一覧表示
  - デバイスの設定状態表示／設定変更
  - デバイスのシーンファイル操作（保存／コピー）
  - デバイスの Web 画面表示
  - デバイスの電源管理
  - 内蔵 EasyIP Setup Tool Plus 機能の利用
    - ネットワーク上のデバイスの自動検出
    - デバイスのネットワーク設定
    - デバイスのファームウェアアップデート
    - デバイスの管理者一括登録
    - デバイスの NDI|HX／SMPTE ST 2110 アクティベーション

Device Manager 機能の選択

画面左の機能選択エリアで[Device Manager]ボタンをクリックすると、画面が Device Manager 機能のものに切り替わります。



デバイスの登録

デバイスの登録について

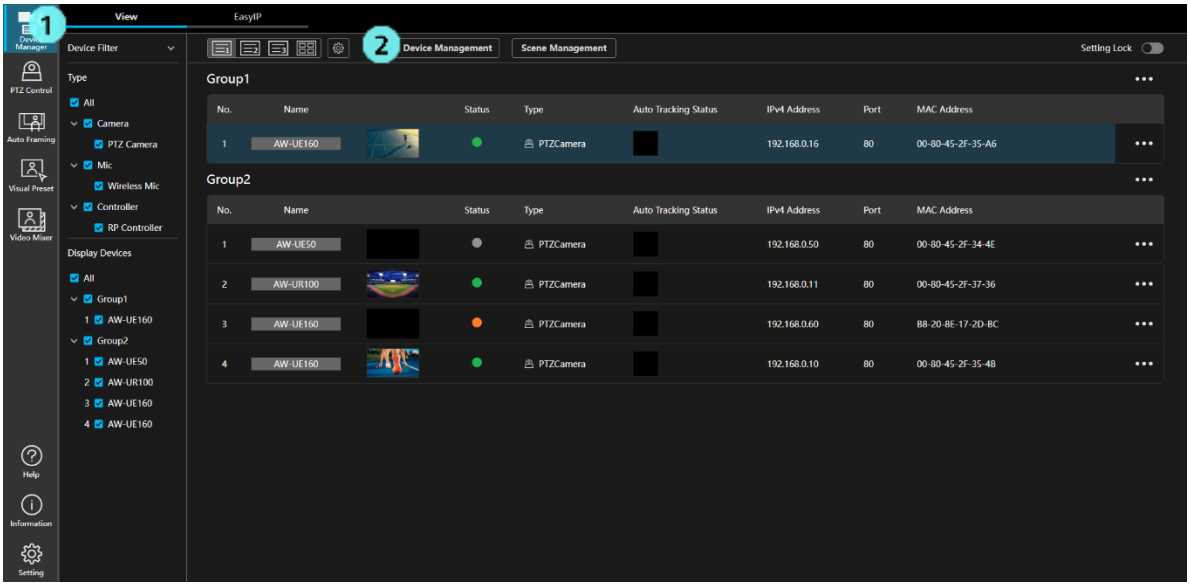
本ソフトウェアでデバイスの操作を行うには、本ソフトウェアにデバイスを登録する必要があります。
デバイスの登録は以下のいずれかの方法で行うことができます。

・GUI 上でデバイス情報を設定する
　GUI 上で、自動検出されたデバイスの中から登録するデバイスを選択する、もしくはデバイスの情報を手動で入力する方法で登録を行います。

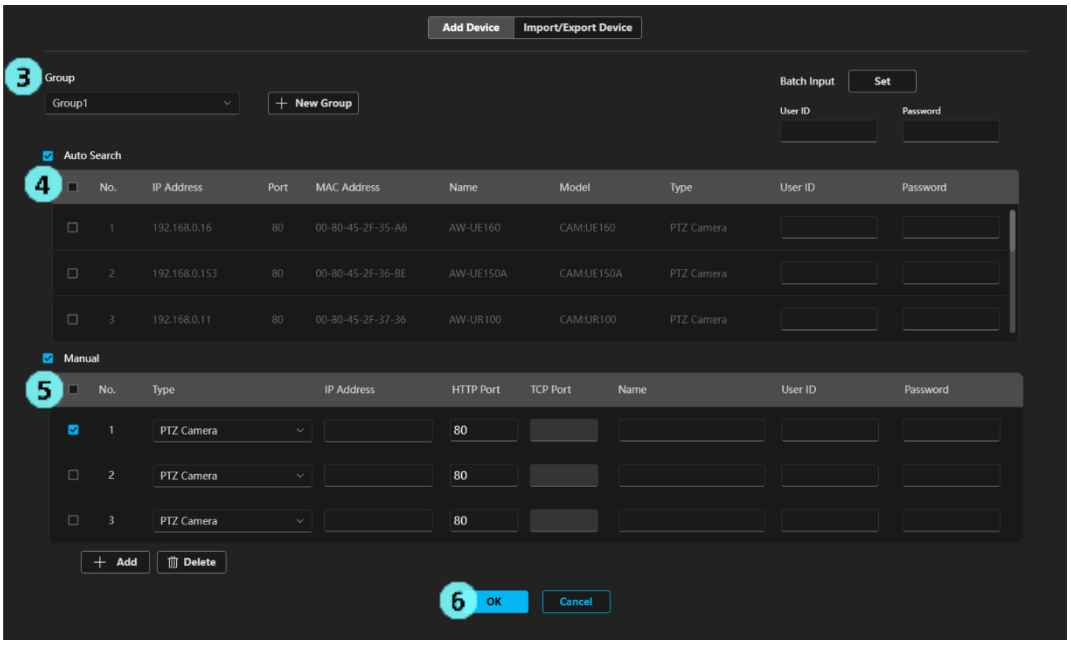
・デバイス情報が記載された CSV ファイルをインポートする
　デバイスの情報が記載された CSV ファイルをあらかじめ作成しておき、それを GUI 上でインポートする方法で登録を行います。

デバイスの登録手順（GUI 上でデバイス情報を設定する場合）

自動検出されたデバイスの中から登録するデバイスを選択する、もしくはデバイスの情報を手動で入力する方法で登録を行う場合は以下の手順で登録を行います。



1. 画面左上の[View]タブをクリックして View 画面を表示します。
2. 画面上部の[Device Management]ボタンをクリックすると、デバイス管理画面（下図）が表示されます。



3. [Group]リストから、デバイス登録先のグループを選択します。
   新しいグループを追加したい場合は[New Group]ボタンをクリックします。
   新規グループの登録欄が表示されますので、グループ名を入力して[Add]ボタンをクリックすると[Group]リストに新しいグループが追加されます。

4. [Auto Search]欄には自動検出されたネットワーク上のデバイスが表示されます。
追加したいデバイスのチェックを ON にして[User ID]と[Password]の欄にデバイスのアカウントとパスワードを入力します。
複数のデバイスのチェックを ON にすることで、複数のデバイスを一度に登録することができます。

5. デバイスを手動登録したい場合は[Manual]欄のチェックを ON にして以下のデバイス情報を入力します。

Type：デバイスの種類をリストから選択します。
PTZ Camera：リモートカメラ、ボックススタイルカメラを登録するときに選択します。
Studio Camera：スタジオカメラ、マルチパーパスカメラを登録するときに選択します。
RP Controller：リモートカメラコントローラーを登録するときに選択します。
Wireless Mic：ワイヤレスマイクシステムを登録するときに選択します。
IP Address：デバイスの IPv4 アドレスを入力します。
HTTP Port：デバイスの HTTP ポート番号を入力します。
TCP Port：Type で Studio Camera を選択したとき、デバイスの TCP ポート番号を入力します。
Studio Camera 以外を選択したときは入力不要です。
Name：デバイスの表示名を入力します。
User ID：デバイスのアカウントを入力します。
Password：デバイスのパスワードを入力します。

<NOTE>
・画面右上の[Batch Input]欄の[User ID]/[Password]欄にアカウント名とパスワードを入力して[Set]ボタンをクリックすることで、[Auto Search]欄と[Manual]欄でチェック ON になっているデバイスすべての User ID と Password をまとめて設定することができます。

複数のデバイスを一度に登録したい場合は[Add]ボタンをクリックすると入力行が追加されますので、同様にデバイスの情報を入力します。

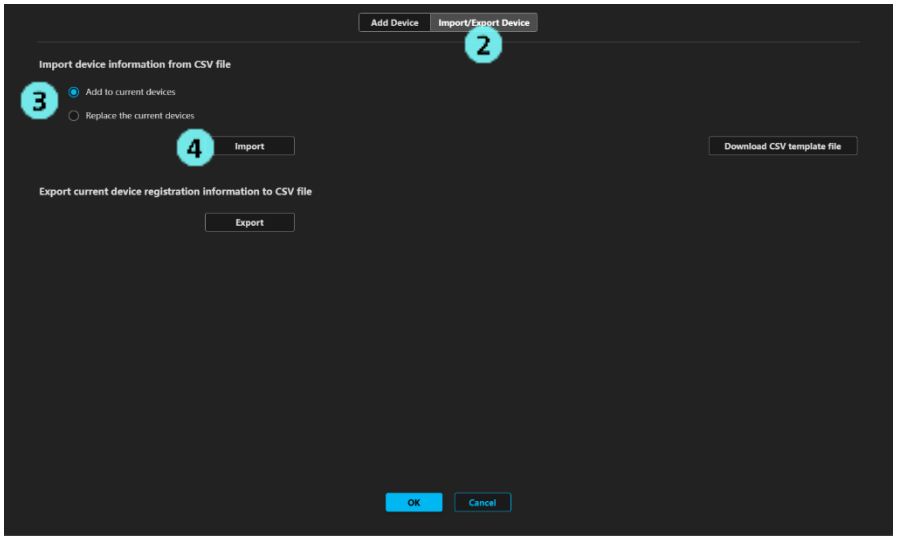
6. OK ボタンをクリックすると、デバイスの登録が行われます。

<NOTE>
・スタジオカメラを CCU 経由で接続する場合は以下のように登録を行ってください。
[Auto Search]で登録する場合：
自動検出された CCU を選択して登録
[Manual]で登録する場合：
Type: Studio Camera を選択して、CCU の IP アドレスとポート番号を登録
・Type: Studio Camera のデバイスを操作するには Image Adjust Pro プラグインのライセンス(AW-SF600)が必要です。詳細は「スタジオカメラ、マルチパーパスカメラの動作について」を参照ください。

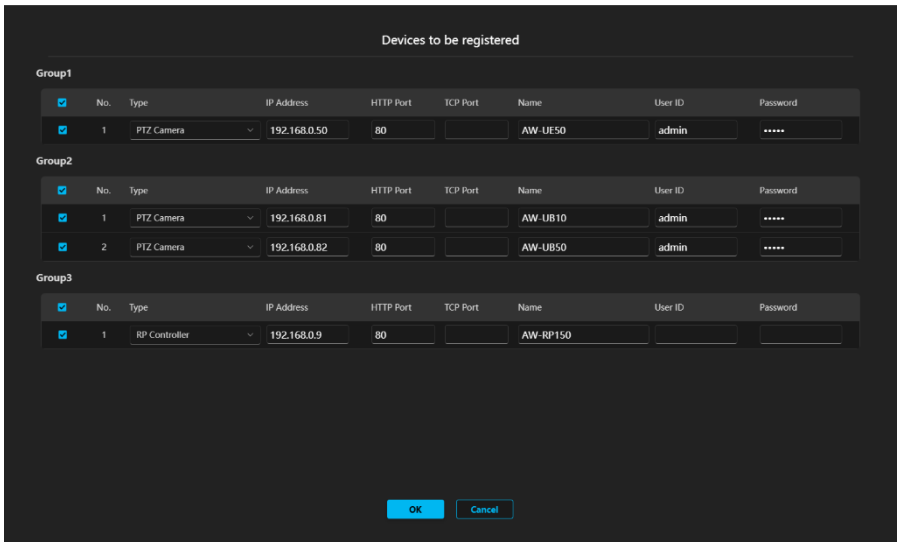
デバイスの登録手順（CSV ファイルをインポートする場合）

デバイスの情報が記載された CSV ファイルをインポートして登録を行う場合は以下の手順で登録を行います。CSV ファイルにデバイス情報をどのように記載するかについては「CSV ファイルの仕様について」を参照ください。

1. 「デバイスの登録手順（GUI 上でデバイス情報を設定する場合）」の 1.と 2.の手順に従ってデバイス管理画面を表示します。
2. デバイス管理画面の上部にある[Import/Export Device]タブをクリックします。



3. [Import device information from CSV file]欄で登録方法を選択します。
   - Add to current devices
     現在登録されているデバイスの後ろに追加する形で登録を行います。
   - Replace the current devices
     現在登録されているデバイスの内容をすべてクリアして置き換える形で登録を行います。
4. [Import]ボタンをクリックするとファイル選択ダイアログが表示されますので、CSV ファイルを選択します。
5. 登録されるデバイスの一覧画面が表示されますので必要に応じて修正を行います。



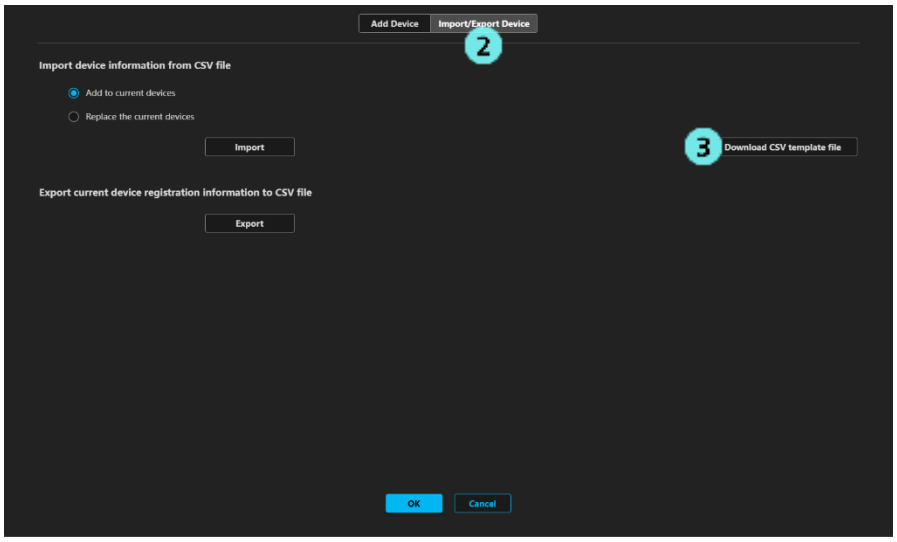
6. 登録されるデバイスの一覧画面で OK ボタンをクリックすると、登録が行われます。

CSV ファイルのテンプレートファイルをダウンロードする

CSV ファイルのテンプレートファイルを本ソフトウェアのデバイス管理画面からダウンロードすることができます。
CSV ファイルを作成する際はテンプレートファイルを基にして作成を行うことを推奨します。

ダウンロードは以下の手順で行います。

1. 「デバイスの登録手順（GUI 上でデバイス情報を設定する場合）」の 1.と 2.の手順に従ってデバイス管理画面を表示します。
2. デバイス管理画面の上部にある[Import/Export Device]タブをクリックします。



3. [Download CSV template file] ボタンをクリックすると、ダウンロードフォルダーに MPS_DeviceRegistrationTemplate.csv ファイルがエクスポートされます。

CSV ファイルの仕様について

デバイス情報を記載する CSV ファイルの仕様は以下となります。

・1 行目に記載された内容は使用されません（項目の説明が入っているとの前提です）
・各列に記載すべき項目は以下になります。
　1 列目：Group Name
　2 列目：Device Type Number
　3 列目：IP Address
　4 列目：HTTP Port
　5 列目：TCP Port
　6 列目：Device Name
　7 列目：User ID
　8 列目：Password

・記載項目の詳細

項目名	説明	備考
Group Name	どのグループに登録するかをグループ名で記載します。 記載可能な文字種と文字数は以下となります。 　文字種：制約なし 　文字数：1 文字以上、32 文字以下（33 文字目以降の文字は無視されます）	・記載が省略された場合は先頭グループに登録されます。 ・記載されたグループが現在の登録グループに存在しなかった場合、記載された名称のグループが自動作成されます。
Device Type Number	デバイスの種類を数値で記載します。 　0: PTZ Camera 　1: Studio Camera 　10: Wireless Mic 　20: RP Controller	・記載が省略された場合は 0: PTZ Camera として登録されます。
IP Address	デバイスの IP アドレスを記載します。	
HTTP Port	デバイスの HTTP ポート番号を記載します。	・記載が省略された場合は 80 が設定されます。
TCP Port	デバイスの種類が Studio Camera の場合はデバイスの TCP ポート番号を記載します。Studio Camera 以外の場合は空白としてください。	
Device Name	デバイスの登録名を記載します。 記載可能な文字種と文字数は以下となります。 　文字種：制約なし 　文字数：1 文字以上、32 文字以下（33 文字目以降の文字は無視されます）	・記載が省略された場合、自動検出されたデバイスに IP Address と HTTP Port が同じものが存在したときは、そのデバイスの Title 情報を登録名として使用します。
User ID	デバイスにログインするときのアカウント名を記載します。	
Password	デバイスにログインするときのパスワードを記載します。	

・記載例

Group1 に IP アドレス：192.168.0.10 の PTZ Camera を、Group2 に IP アドレス：192.168.0.20 の PTZ Camera を登録するときの記載例です。

Group, Device Type Number(0:PTZ Camera 10:Wireless Mic 20:RP Controller), IP Address, HTTP Port, TCP Port, Device Name, User ID, Password

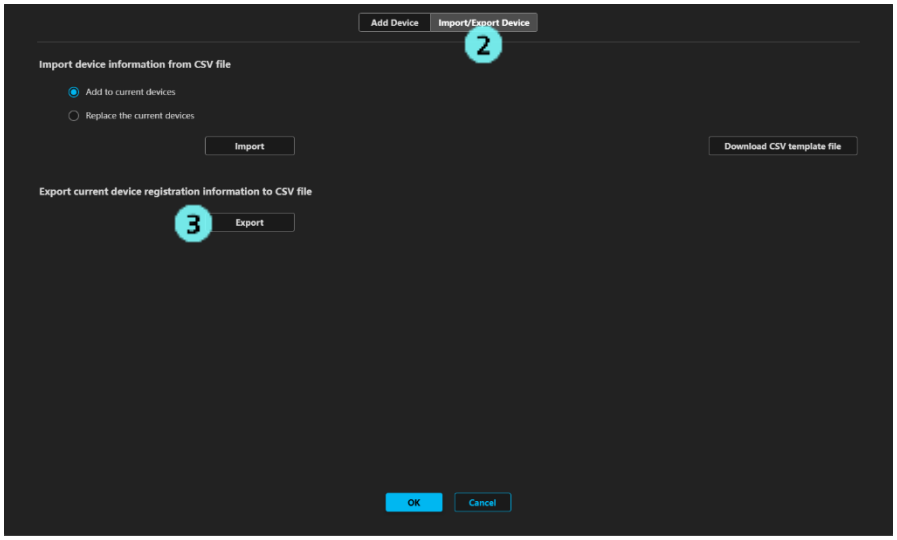
Group1,0,192.168.0.10,80,,AW-UE160,ptz_user,ptz_password

Group2,0,192.168.0.20,80,,AW-UE150,ptz_user,ptz_password

デバイスの登録情報を CSV ファイルにエクスポートする

本ソフトウェアに登録されているデバイスの情報を CSV ファイルにエクスポートすることができます。

1. 「デバイスの登録手順（GUI 上でデバイス情報を設定する場合）」の 1.と 2.の手順に従ってデバイス管理画面を表示します。
2. デバイス管理画面の上部にある[Import/Export Device]タブをクリックします。



3. [Export current device registration information to CSV file]欄の[Export]ボタンをクリックすると、ダウンロードフォルダーに MPS_RegisteredDevices.csv ファイルがエクスポートされます。

＜NOTE＞

・Group Name、Device Name、User ID、Password にカンマ(,) が含まれていた場合、カンマはピリオド(.) に変換されてエクスポートされます。

リモートカメラの推奨設定について

本ソフトウェアにリモートカメラを登録して使用するときは、リモートカメラ側で以下の設定を行うことを推奨します。設定方法はリモートカメラの操作説明書を参照ください。

・JPEG の Image capture size 設定

JPEG(1)：1280x720

JPEG(2)：640x360

JPEG(3)：320x180

※JPEG 設定が 1 つしか存在しないカメラの場合は 1280x720 もしくは 640x360 に設定

・JPEG の Refresh Interval（Frame rate）

JPEG(1)、JPEG(2)、JPEG(3)のいずれも、設定可能な中で最も大きい値に設定

ボックススタイルカメラの設定と動作について

本ソフトウェアにボックススタイルカメラを登録して使用するときは、事前に以下の設定が必要です。

・カメラのアカウント設定（ID/PW の設定）

本ソフトウェアの内蔵 EasyIP Setup Tool Plus 機能で Administrator Registration を選択してカメラのアカウント設定を行ってください。

詳細は本書の「Administrator Registration 機能」を参照ください。

・カメラの有線 LAN 動作モード設定

カメラ本体の設定メニューで「IN/OUT」→「有線 LAN」→「有線 LAN 機能」を「コントローラーをつないで使う」に設定してください。

詳細はカメラ本体の操作説明書を参照ください。

・カメラのフォトスタイル設定

R PEDESTAL, G PEDESTAL, B PEDESTAL を操作したい場合は、カメラ本体の設定メニューで「画質 1」→「フォトスタイル」を「リモートカメラ（UE160)」に設定してください。

詳細はカメラ本体の操作説明書を参照ください。

また、ボックススタイルカメラでは、以下の制約事項があります。

・本ソフトウェアの各機能で、カメラの映像が表示されません。

スタジオカメラ、マルチパーパスカメラの動作について

本ソフトウェアにスタジオカメラ、マルチパーパスカメラを登録してカメラを操作するには、本ソフトウェアの Image Adjust Pro プラグインのライセンスが必要です。
ライセンスが無い場合、カメラを登録しても本ソフトウェアから認識されず、操作を行うことができません。
Image Adjust Pro プラグインの無償トライアルを開始するか、ライセンスのキーコード（AW-SF600）を購入してアクティベーションを行い、ライセンスを有効化してください。
Image Adjust Pro プラグインおよびライセンスについての詳細は、Image Adjust Pro プラグインの操作説明書を参照ください。

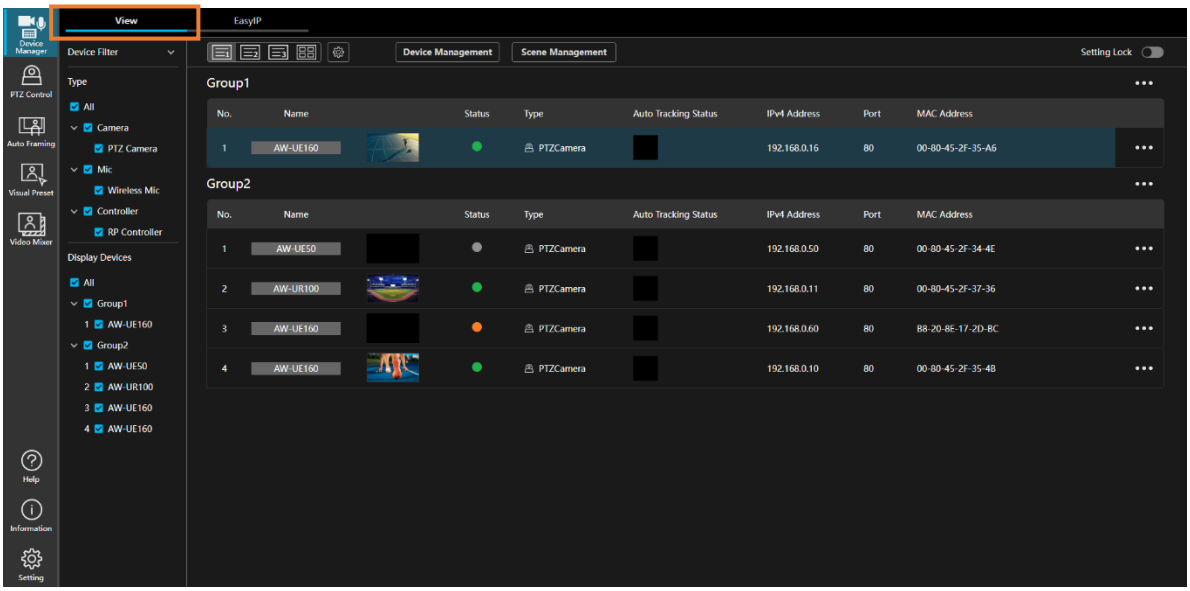
また、スタジオカメラ、マルチパーパスカメラでは、以下の制約事項があります。

・本ソフトウェアの各機能で、カメラの映像が表示されません。
・カメラを Manual で登録した場合、カメラの MAC Address と Serial Number が表示されません。

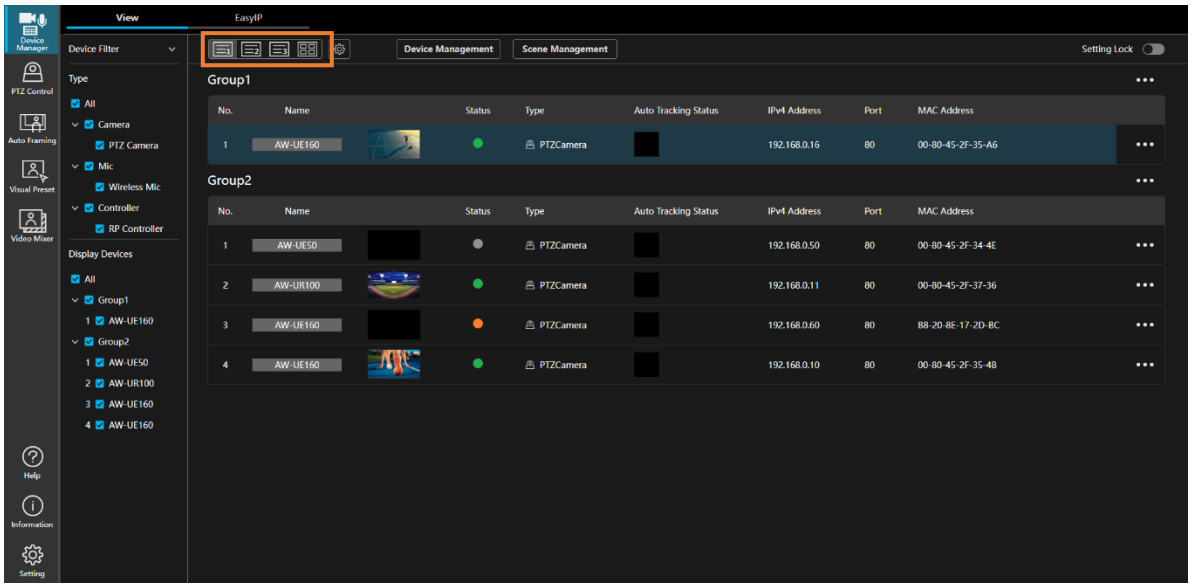
デバイスの一覧表示と設定値の変更

デバイスの一覧を表示する

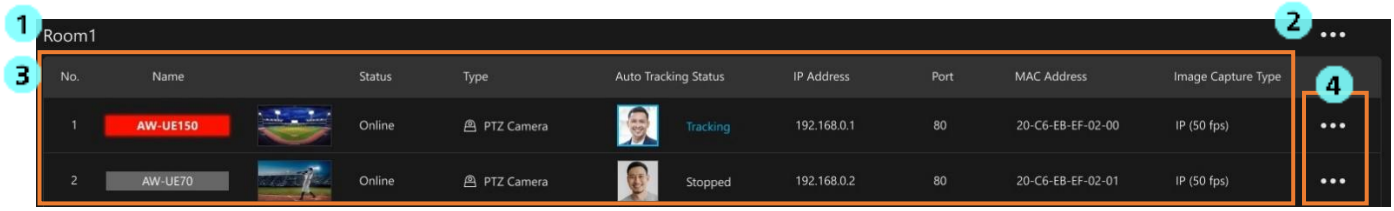
登録されたデバイスの一覧は View 画面に表示されます。
画面左上の[View]タブをクリックすると View 画面が表示されます。



画面の ボタンで、デバイスの一覧表示をリスト表示 1／リスト表示 2／リスト表示 3／サムネイル表示のどれで行うかを選択することができます。



リスト表示の説明



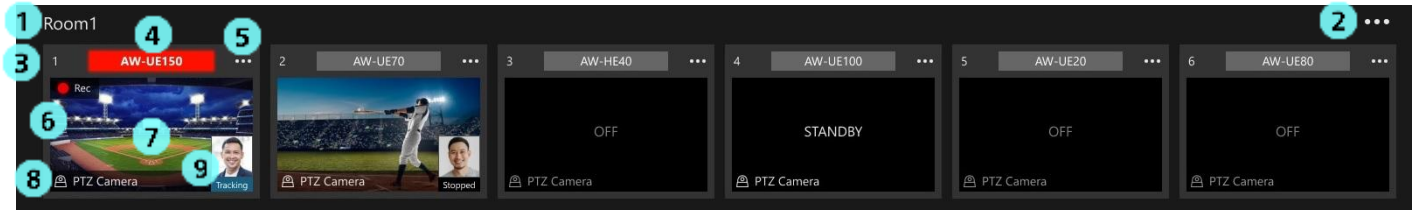
1. グループ名表示
   デバイスが属するグループの名称を表示します。

2. グループメニュー表示ボタン
   ボタンをクリックすると、そのグループに対して操作を行うためのグループメニューを表示します。
   メニューの詳細は本書の「グループメニューの操作」を参照ください。

3. デバイス表示エリア
   登録されているデバイスをグループ毎にリスト表示します。
   リストに表示する項目はリスト表示 1／リスト表示 2／リスト表示 3 のそれぞれで設定を行うことができます。
   表示する項目の設定方法は「リスト表示に表示する項目を設定する」を参照ください。
   また、表示できる項目の説明は「リスト表示項目の説明」を参照ください。

4. デバイスメニュー表示ボタン
   ボタンをクリックするとデバイスに対して操作を行うためのデバイスメニューを表示します。
   メニューの詳細は本書の「デバイスメニューの操作」を参照ください。

サムネイル表示の説明



1. グループ名表示
   デバイスが属するグループの名称を表示します。

2. グループメニュー表示ボタン
   ボタンをクリックすると、そのグループに対して操作を行うためのグループメニューを表示します。
   メニューの詳細は本書の「グループメニューの操作」を参照ください。

3. No.
   グループ内のデバイス管理番号を表示します。

4. Name
   デバイスの名称を表示します。デバイス Type がカメラで、タリーランプが点灯している場合は背景色がタリーランプの色に変化します。

5. デバイスメニュー表示ボタン
   ボタンをクリックするとデバイスに対して操作を行うためのデバイスメニューを表示します。
   メニューの詳細は本書の「デバイスメニューの操作」を参照ください。

6. 記録状態表示
   デバイスが映像記録中のとき、記録状態を表示します。

7. Thumbnail
   デバイス Type がカメラの場合はカメラが撮影している映像を表示します。デバイス Type がカメラ以外の場合はデバイス Type に応じた画像が表示されます。
   デバイスがスタンバイ状態のときは STANDBY 表示に、デバイスが接続されていない、もしくは電源 OFF の状態のときは OFF 表示になります。

8. Type
   デバイスの Type（種類）を表示します。

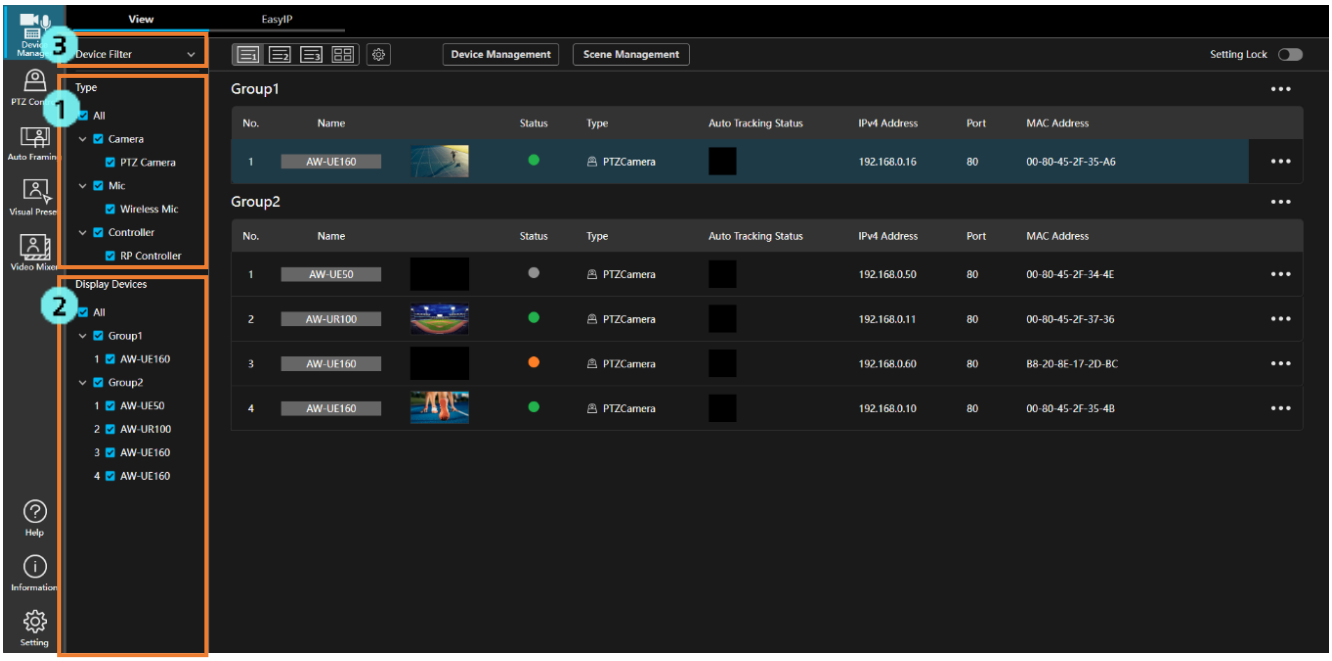
9. Auto Tracking Status
   顔認証用に登録されている顔を表示します。
   デバイスが自動追尾実行中のとき、自動追尾の追尾状態（Tracking、Lost、Stopped）を表示します。

表示するデバイスを絞り込む

表示するデバイスを以下の条件で絞り込むことができます。

・デバイスの Type（種別）を指定して絞り込む
　画面左の[Type]ツリー（下図の 1）でチェックを入れた Type のデバイスのみ画面に表示されます。

・個々のデバイスを指定して絞り込む
　画面左の[Display Devices]ツリー（下図の 2）でチェックを入れたデバイスのみ画面に表示されます。



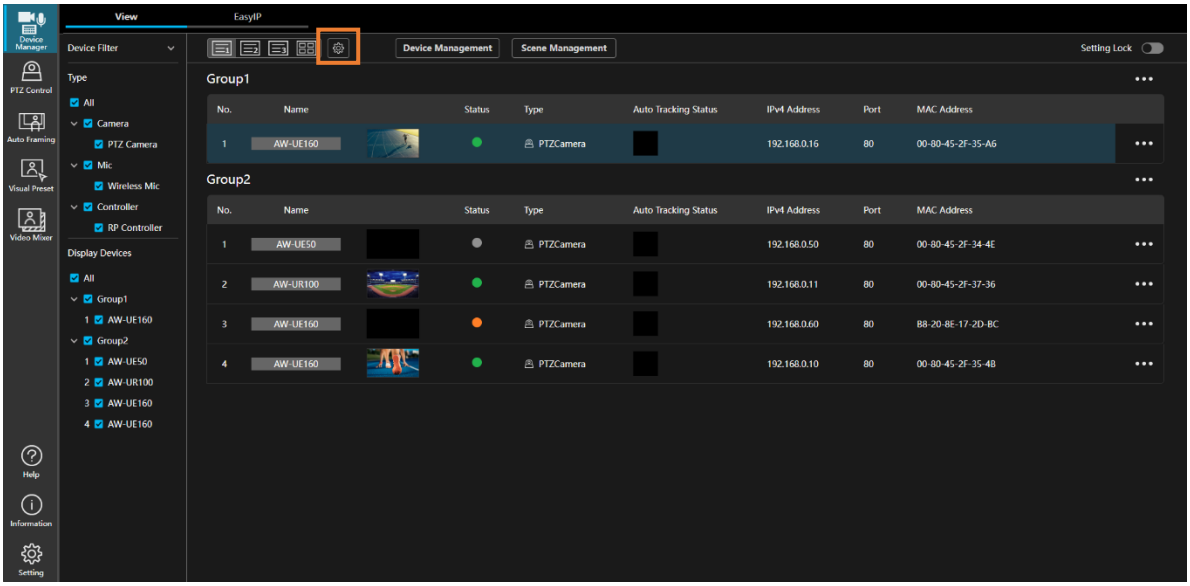
＜NOTE＞

・デバイスの絞り込みが不要な場合は、絞り込みツリーのタイトル部分（上図の 3）をクリックすることで絞り込みツリーの表示／非表示を切り替えることができます。

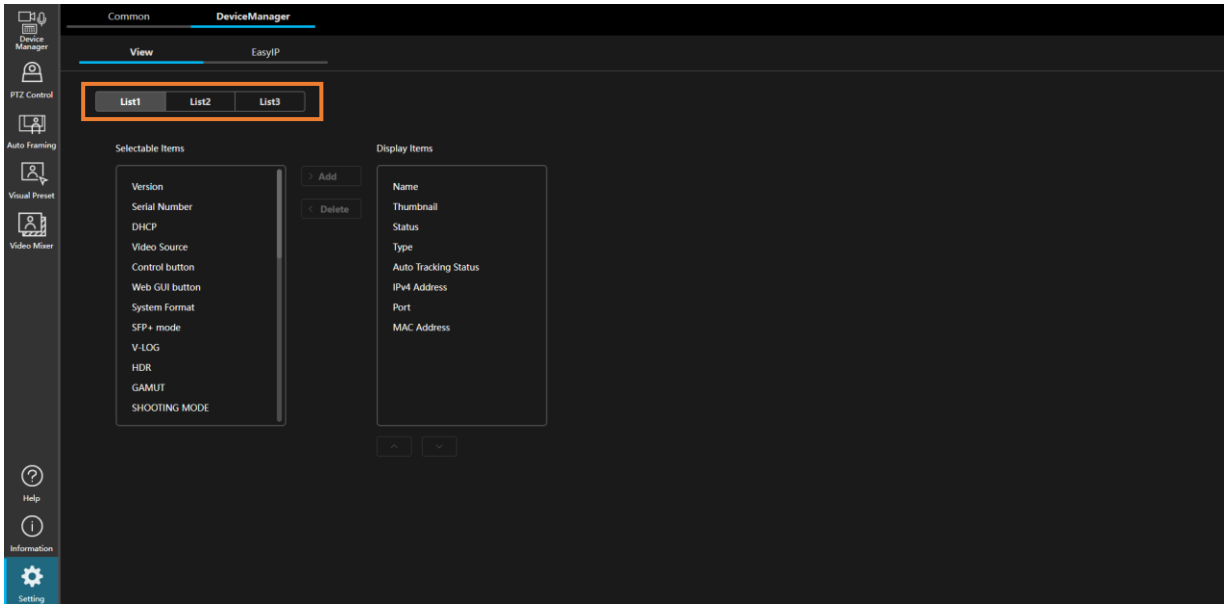
リスト表示に表示する項目を設定する

リスト表示 1／リスト表示 2／リスト表示 3 のそれぞれに対して、表示する項目を設定することができます。
表示する項目の設定は以下の手順で行います。

1. 画面上部にある設定ボタン をクリックすると、Setting 画面に移動します。



2. List1 / List2 / List3 のタブで、リスト表示 1／リスト表示 2／リスト表示 3 のどの表示を設定するかを選択します。



3. 項目を非表示対象から表示対象に変更したい場合は[Selectable Items]内の項目を選択して[> Add]ボタンをクリックします。項目が[Display Items]に移動して表示対象になります。
   項目を表示対象から非表示対象に変更したい場合は[Display Items]内の項目を選択して[< Delete]ボタンを

クリックします。項目が[Selectable Items]に移動して非表示対象になります。
また、[Display Items]で項目を選択して[Display Items]の下にある上下ボタンをクリックすることで、項目の表示順を変更することができます。

リスト表示項目の説明

リスト表示に表示できる項目は以下になります。
設定値変更の列に〇が付いている項目は、リスト表示上で設定値の変更が可能です。詳細は「リスト表示上でデバイスの設定値を変更する」を参照ください。

項目名	説明	設定値変更	初期表示		
			List1	List2	List3
Name	デバイスの名称を表示します。デバイス Type がカメラで、タリーランプが点灯している場合は背景色がタリーランプの色に変化します。		〇	〇	〇
Cam Model No.	カメラの品番を表示します。		〇		
CCU Model No.	カメラが CCU 経由で接続されている場合、CCU の品番を表示します。		〇		
Thumbnail	デバイス Type がカメラの場合はカメラが撮影している映像を表示します。デバイス Type がカメラ以外の場合はデバイス Type に応じた画像が表示されます。		〇		
Status	デバイスの接続状態を色で表示します。 緑：デバイスが接続され、かつ稼働している状態です。 オレンジ：デバイスは接続されていますが、スタンバイの状態です。 グレー：デバイスが接続されていない、もしくは電源 OFF の状態です。		〇		
Type	デバイスの Type（種類）を表示します。		〇		
Auto Tracking Status	デバイスの自動追尾状態と顔認証用に登録されている顔を表示します。 Tracking：追尾対象を追尾中の状態です。 Lost：追尾対象を見失っている状態です。 Stopped：追尾対象が設定されておらず、停止中の状態です。		〇		
IPv4 Address	ネットワークアドレスを表示します。		〇		
Port	HTTP ポート番号を表示します。		〇		
TCP Port	TCP ポート番号を表示します。				
MAC Address	MAC アドレスを表示します。		〇		
Version	ファームウェアバージョンを表示します。				
Serial Number	シリアル番号を表示します。				
DHCP	DHCP 設定を表示します。				
Video Source	映像ソースの種類を表示します。				

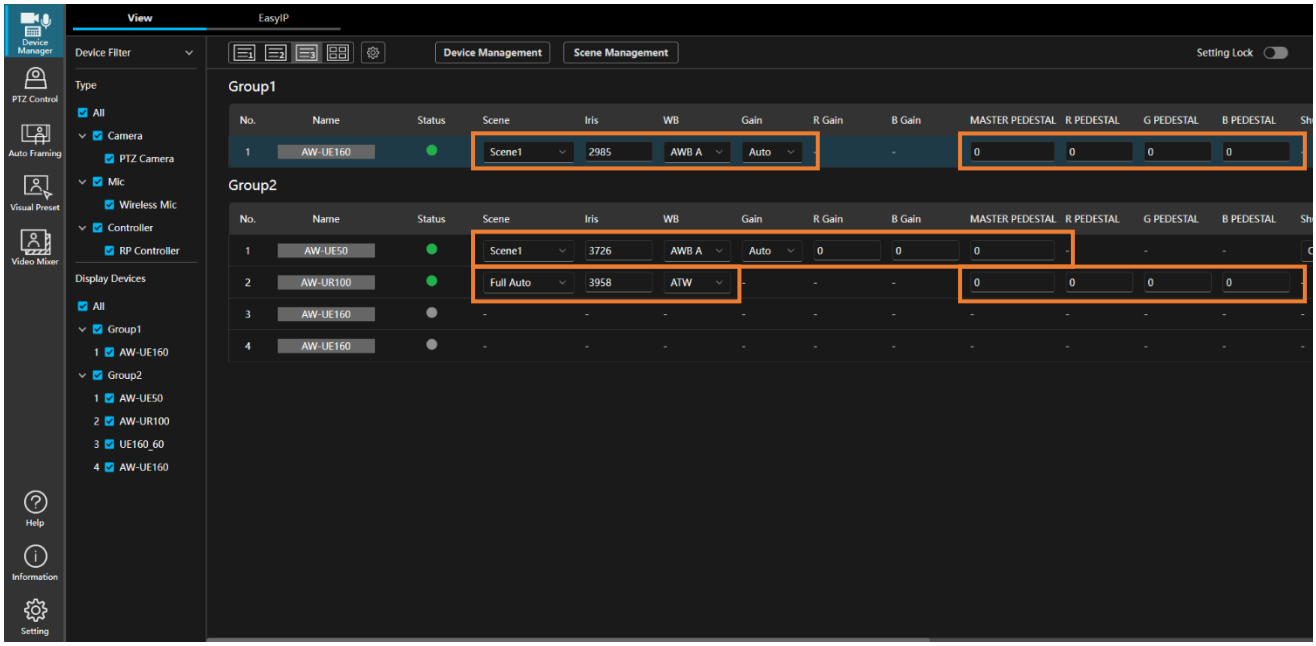
Control Button	Control ボタンを表示します。 ボタンをクリックするとデバイスの操作画面が表示されます。			○	
Web GUI Button	Web GUI ボタンを表示します。 ボタンをクリックするとデバイスの Web GUI 画面が表示されます。			○	
System Format	System Format の設定値を表示します。	○		○	
SFP+ mode	SFP+ mode の設定値を表示します。	○		○	
V-LOG	V-LOG の設定値を表示します。	○		○	
HDR	HDR の設定値を表示します。	○		○	
GAMUT	GAMUT の設定値を表示します。	○		○	
SHOOTING MODE	SHOOTING MODE の設定値を表示します。	○		○	
SYNC REF SIGNAL	SYNC REF SIGNAL の設定値を表示します。	○		○	
GENLOCK H PHASE COARSE	GENLOCK H PHASE COARSE の設定値を表示します。	○		○	
GENLOCK H PHASE FINE	GENLOCK H PHASE FINE の設定値を表示します。	○		○	
Streaming Mode	ストリーミングモードの設定値を表示します。	○		○	
Streaming Resolution	ストリーミング解像度の設定値を表示します。	○		○	
Streaming Frame Rate	ストリーミングフレームレートの設定値を表示します。	○		○	
Streaming Bit Rate	ストリーミングビットレートの設定値を表示します。	○		○	
Scene	Scene の設定値を表示します。	○			○
Iris	Iris の設定値を表示します。	○			○
WB	WB モードの設定値を表示します。	○			○
Gain	Gain の設定値を表示します。	○			○
R Gain	R Gain の設定値を表示します。	○			○
B Gain	B Gain の設定値を表示します。	○			○
MASTER PEDESTAL	MASTER PEDESTAL の設定値を表示します。	○			○
R PEDESTAL	R PEDESTAL の設定値を表示します。	○			○
G PEDESTAL	G PEDESTAL の設定値を表示します。	○			○
B PEDESTAL	B PEDESTAL の設定値を表示します。	○			○
Shutter	Shutter の設定値を表示します。	○			○
ND Filter	ND Filter の設定値を表示します。	○			○
Color Collect ON/OFF	Color Collect ON/OFF の設定値を表示します。	○			○
Color Collect Table	Color Collect Table の設定値を表示します。	○			○
Gamma ON/OFF	Gamma ON/OFF の設定値を表示します。	○			○
Gamma Mode	Gamma Mode の設定値を表示します。	○			○

＜NOTE＞

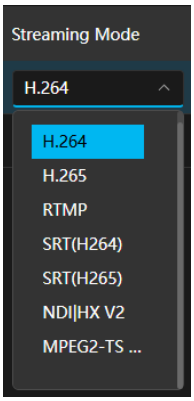
・デバイスが対応する表示項目は機種毎に異なります。デバイスが対応していない表示項目は ― で表示されます。
・スタジオカメラの[SHUTTER SELECT BY ROP]設定が[SELECT]のときは、Shutter の操作はできません。

リスト表示上でデバイスの設定値を変更する

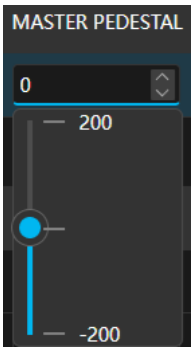
設定値変更に対応している項目は、ボックスの形で設定値が表示されます。
ボックスの部分をクリックすることで設定値を変更することができます。



設定値が一覧から選択する形式の場合は、表示される一覧から値を選択します。



設定値が値を設定する形式の場合は、スライダー／ボックス右端の増減ボタン／ボックスに値を直接入力のいずれかの方法で値を設定します。



＜NOTE＞

・アカウント権限が User の場合は、設定値の変更はできません。

・一部の項目は、設定値の変更によってデバイスの再起動が発生する場合があります。再起動が発生した場合、表示が更新されるまでに数分程度の時間を要します。

再起動が発生する例：

SFP+ mode を変更した場合

Streaming Mode を NDI|HX V2 以外から NDI|HX V2 に変更した場合

Streaming Mode を NDI|HX V2 から NDI|HX V2 以外に変更した場合

・以下の項目が本アプリ以外で設定が変更されたとき、本アプリの表示に反映されない場合があります。

Priority Mode

System Format

Streaming Resolution、Streaming Frame Rate、Streaming Bit Rate

・Streaming Resolution、Streaming Frame Rate、Streaming Bit Rate の設定は CH1 にのみ適用されます。

・AW-UE20/HE20、AW-UE4 では、Streaming Bit Rate の設定はできません。

・AW-UE20/HE20、AW-UE4 で System Format、Streaming Mode、Streaming Resolution、Streaming Frame Rate を変更した場合、変更が反映されるまでに時間を要する場合があります。

・Type：Studio Camera のデバイスでは、以下の制約事項があります。

すべての機種：以下の項目の設定値変更はできません。

System Format、HDR 、ND Filter、WB

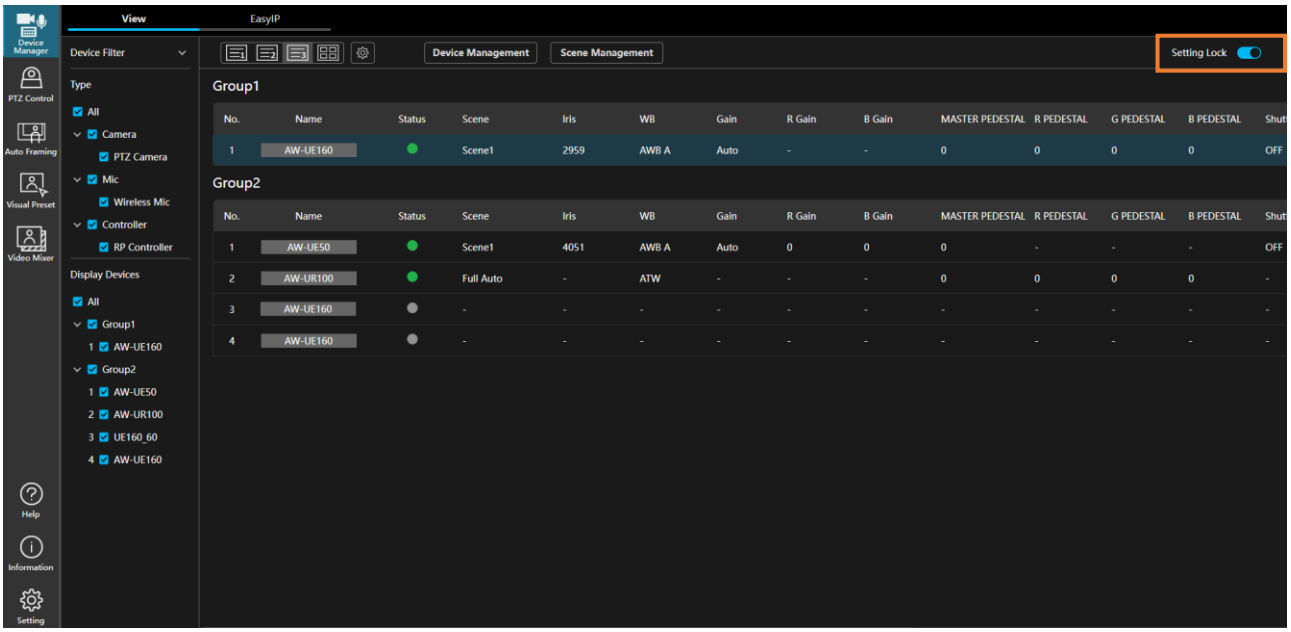
AK-UC4000/AK-UC3300：以下の項目の設定値変更はできません。

V-Log、GAMUT

リスト表示上でのデバイスの設定値をロックする

画面右上の[Setting Lock]ボタンを ON にするとリスト表示上のすべての設定値がロックされます。ロック状態では設定値は表示のみの状態になり、本画面からの変更ができなくなります（PTZ Control 画面など他の画面からの設定や、デバイスの Web 画面からの設定は可能です）

[Setting Lock]ボタンを OFF にすると設定値のロックが解除され、設定値変更が可能な状態に戻ります。



デバイスのシーンファイル操作

シーンファイル操作について

シーンファイル操作では以下のことを行うことができます。

・シーンファイルの Save

デバイスのシーンファイル設定を PC 上に設定ファイルとして保存することができます。

・シーンファイルの Copy

デバイスのシーンファイル設定を他の同一機種のデバイスにコピーすることができます。

PC 上に保存されている設定ファイルの設定を同一機種のデバイスにコピーすることができます。

＜NOTE＞

・クライアント PC から操作を行う場合は、事前に Web Plugin（クライアント PC 用ツール）のインストールを行っておく必要があります。弊社 Web サイト（https://eww.pass.panasonic.co.jp/pro-av/support/content/download/JP/jp2main/mps_client_tool_j.htm）からダウンロードしてインストールを行ってください。

・Type: Studio Camera のデバイスはシーンファイル操作を行うことができません。

対応するデータ

Save/Copy のいずれも、以下のデータのみ対応しています。*には任意の数字が入ります。

・Camera (SCENE*)

・Camera (USER*)

・Camera (PRESET)

・Camera (FULL AUTO)

・Camera (SYSTEM)

PC 上に保存した設定ファイルの取り扱いについて

Save 操作で PC 上に保存したファイルの拡張子は変更しないでください。

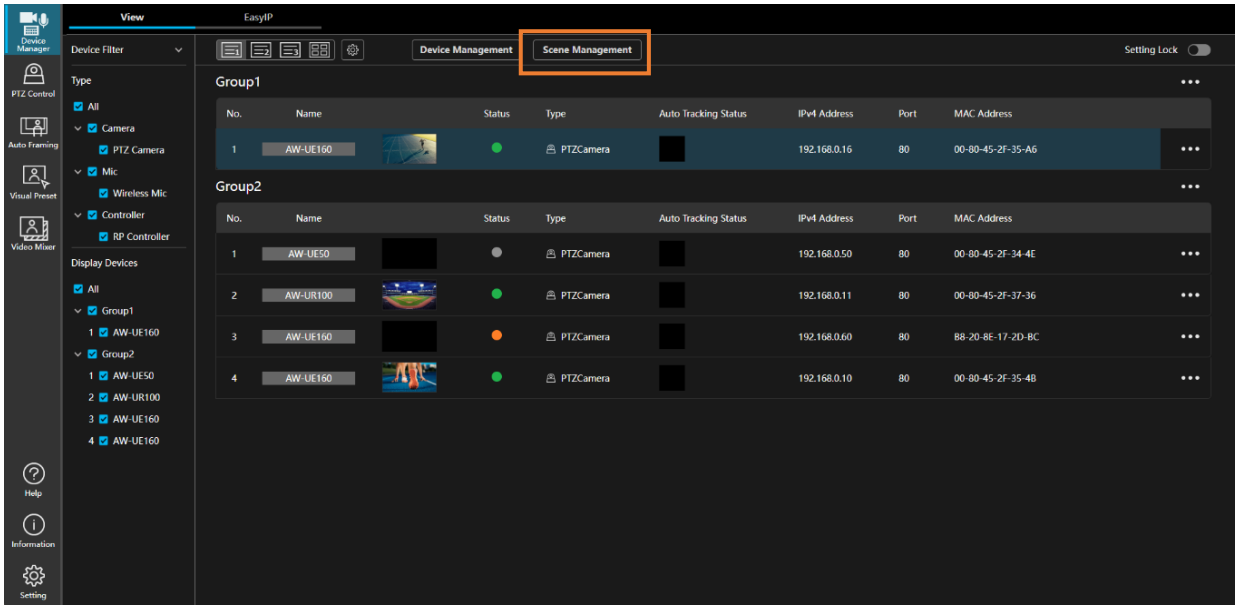
拡張子を変更すると、本アプリの Copy 操作やカメラ Web 画面の Upload で使用できなくなります。

また、ファイル名を変更した場合、本アプリの Copy 操作には使用できますが、カメラ Web 画面の Upload で使用できなくなる場合があります。

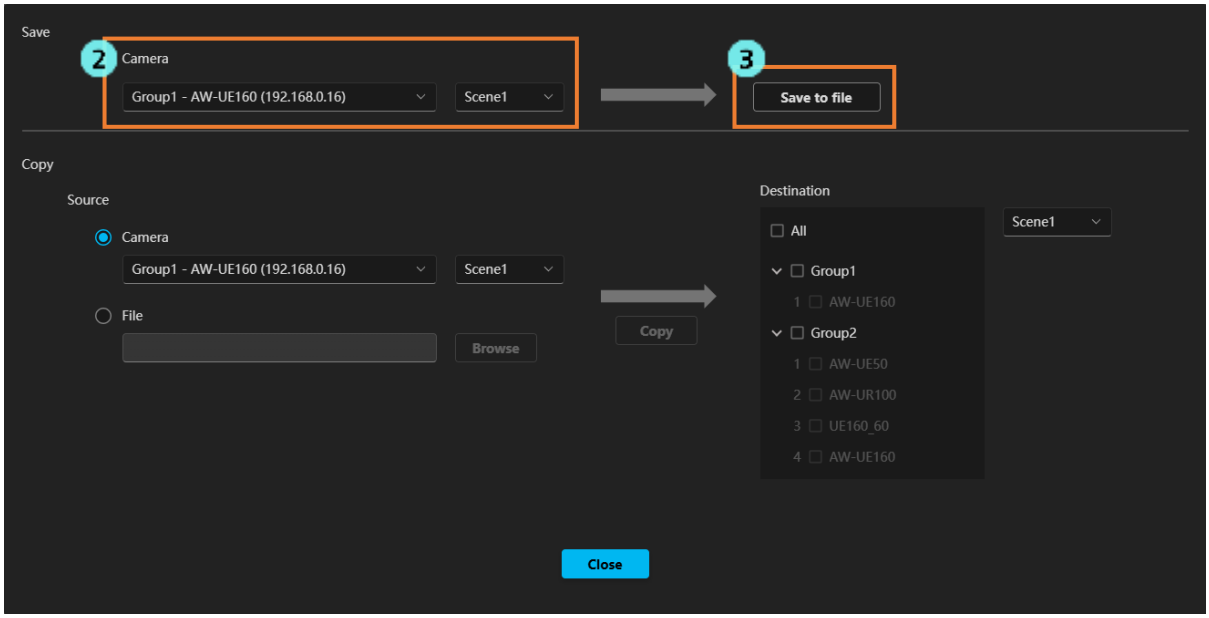
シーンファイルの Save を行う

Save では、デバイスのシーンファイル設定を PC 上に設定ファイルとして保存することができます。
操作は以下の手順で行います。

1. 画面上部の[Scene Management]ボタンをクリックします。



2. シーンファイル管理画面が表示されます。
   Save 欄の Camera で、保存対象のカメラとデータを選択します。
3. [Save to file]ボタンをクリックすると保存先を選択するダイアログが表示されます。
   保存先を選択して OK ボタンをクリックすると、設定ファイルの保存が行われます。
   ※[Save to file]ボタンクリック時に SceneManagementWebProgram を開くかどうかの許可確認メッセージが表示された場合は、許可してください。

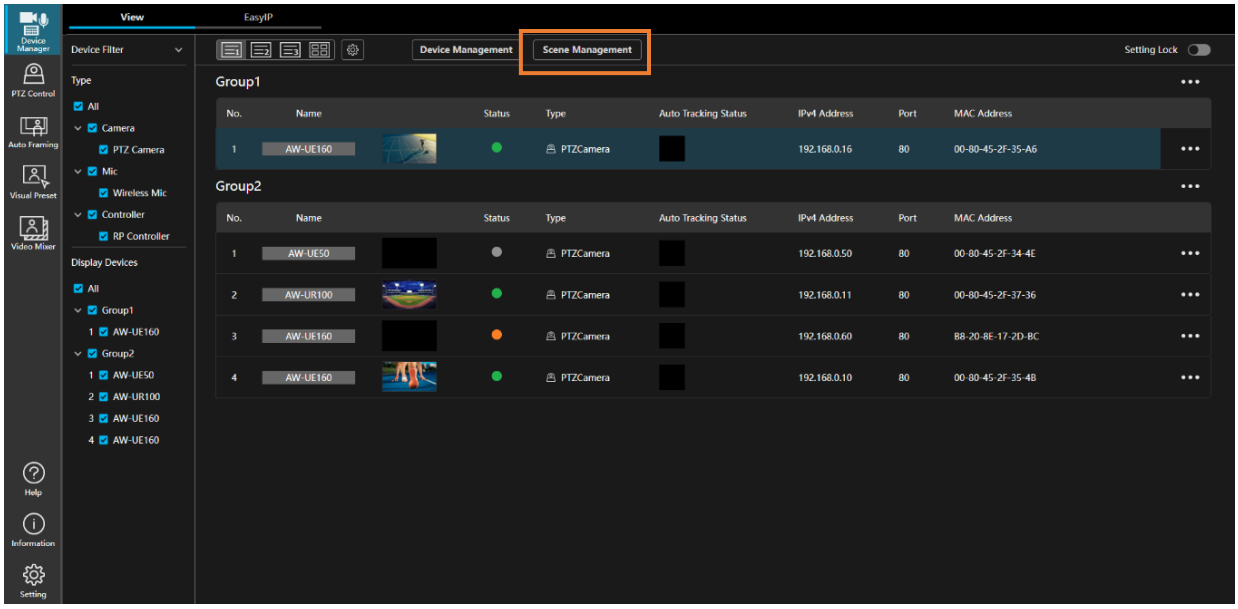


シーンファイルの Copy を行う

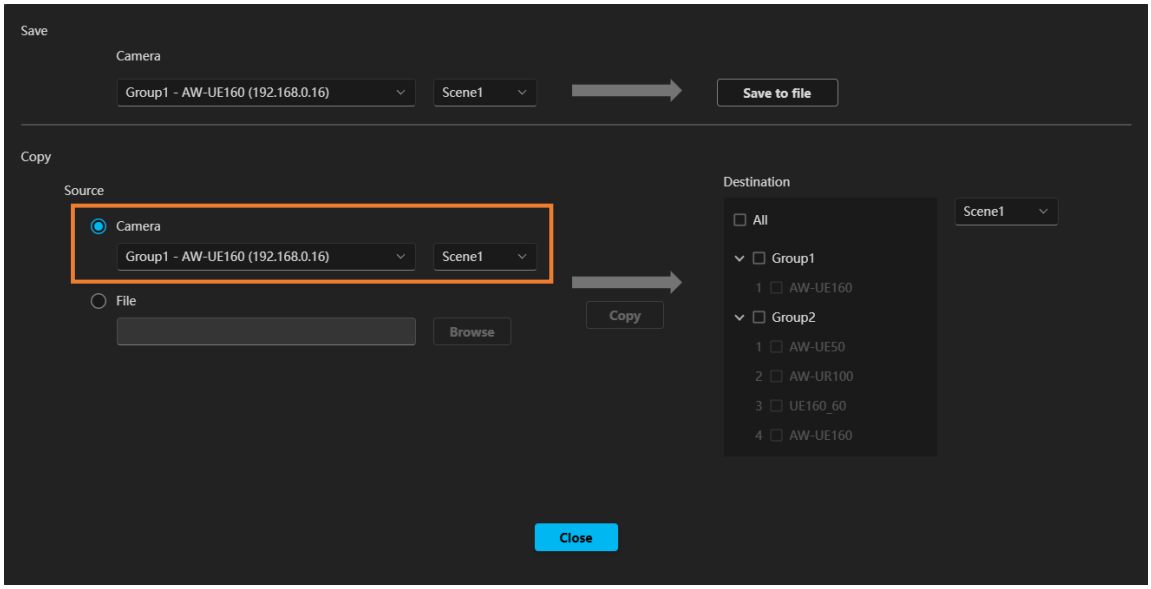
Copy では、デバイスのシーンファイル設定を他のデバイスにコピー、または PC 上に保存されている設定ファイルの設定をデバイスにコピーすることができます。
コピーは同時に複数のデバイスに対して行うことができます。
※コピーできるのは同一機種間に限られます。異なる機種間のコピーはできません。
※コピーが完了した後にカメラの再起動が発生する場合があります。

操作は以下の手順で行います。

1. 画面上部の[Scene Management]ボタンをクリックします。



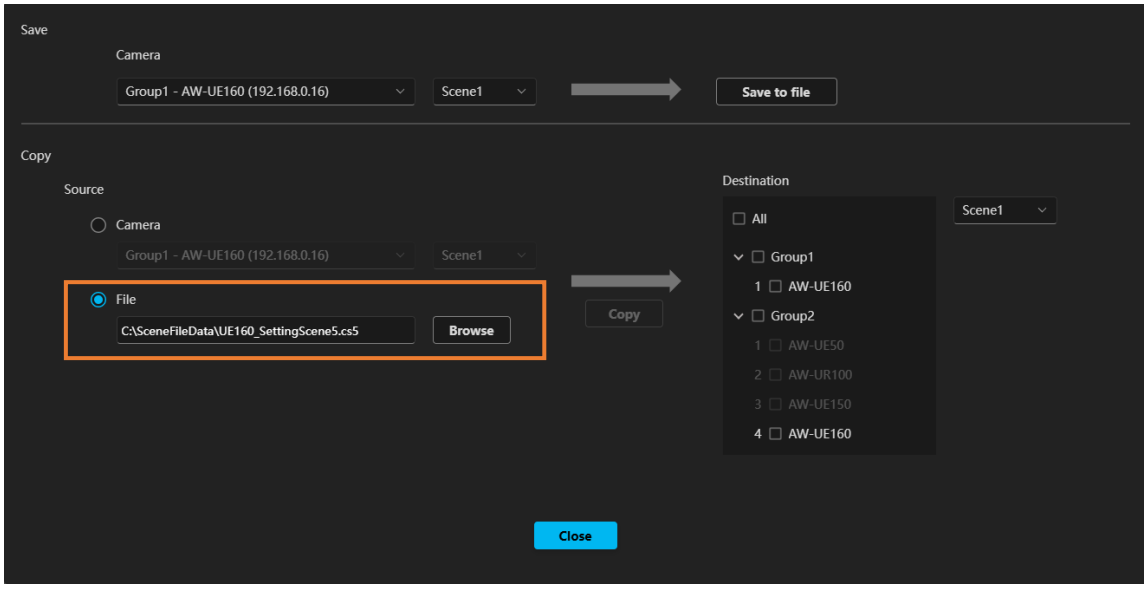
2. シーンファイル管理画面が表示されます。
   ・デバイスからコピーを行う場合
   Copy 欄の Source で Camera を選択して、コピー元のカメラとデータを選択します。



   ・ファイルからコピーを行う場合

Copy 欄の Source で File を選択して[Browse]ボタンをクリックします。ファイルを選択するダイアログが表示されますので、保存された設定ファイルを選択して OK ボタンをクリックします。

※[Browse]ボタンクリック時に SceneManagementWebProgram を開くかどうかの許可確認メッセージが表示された場合は、許可してください。



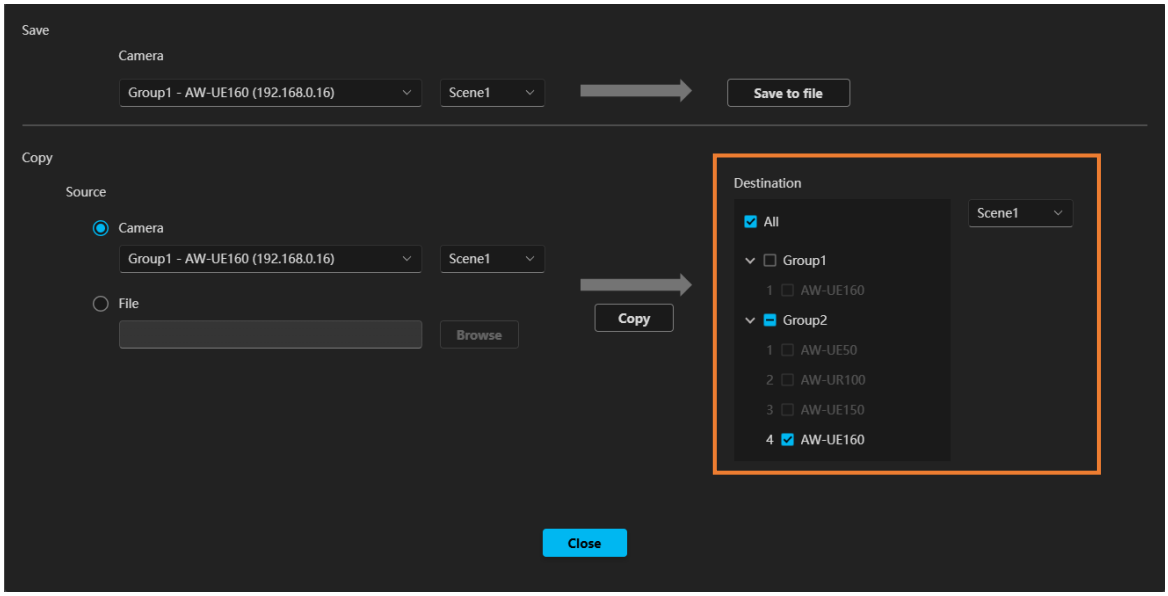
3. Destination 欄でコピー先のデバイスとデータを選択します。

デバイスはツリーのデバイス名先頭のチェックを ON にして選択します。

・コピー元と同一機種のデバイスのみ選択できます。

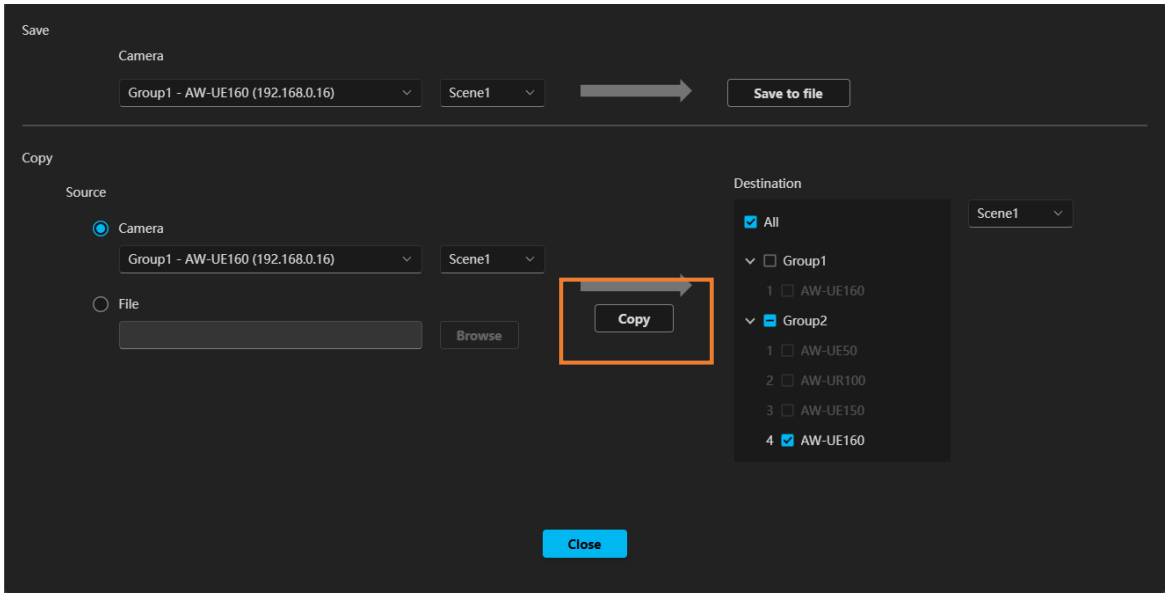
・複数のデバイスにチェックを入れると、複数のデバイスに対して同時コピーが行われます。

データはコピー元と同一種別のデータのみ選択できます。

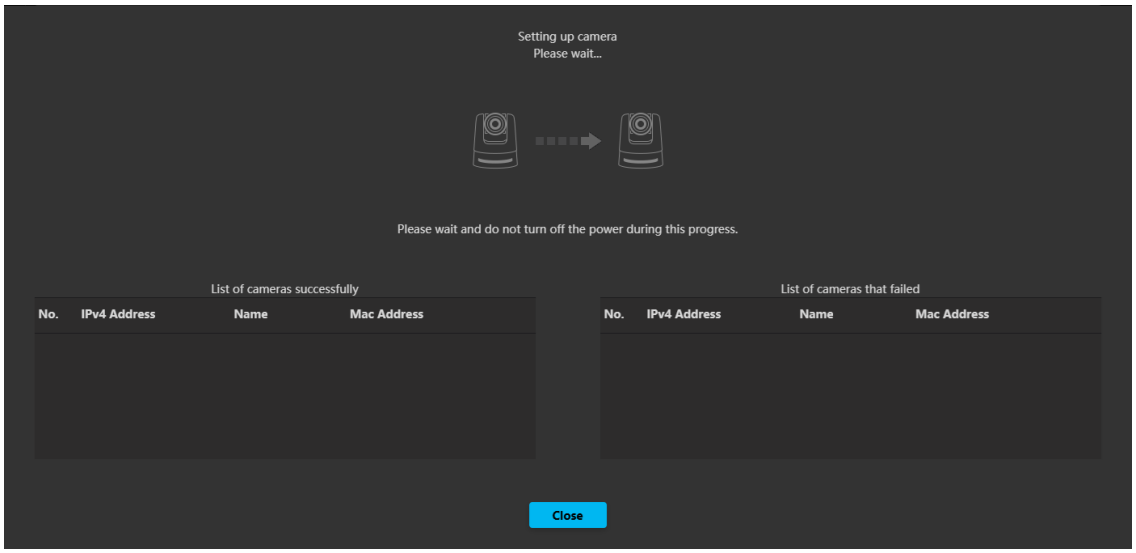


4. [Copy]ボタンをクリックするとコピー開始の確認メッセージが表示され、OK をクリックするとコピーが実行されます。

デバイスや動作環境によっては、コピー完了まで数分程度の時間を要する場合があります。



コピー中およびコピー完了時は以下のような画面が表示されます。
コピーが正常に完了したカメラは[List of cameras successfully]に、コピーが正常に完了しなかったカメラは[List of cameras that failed]に表示されます。

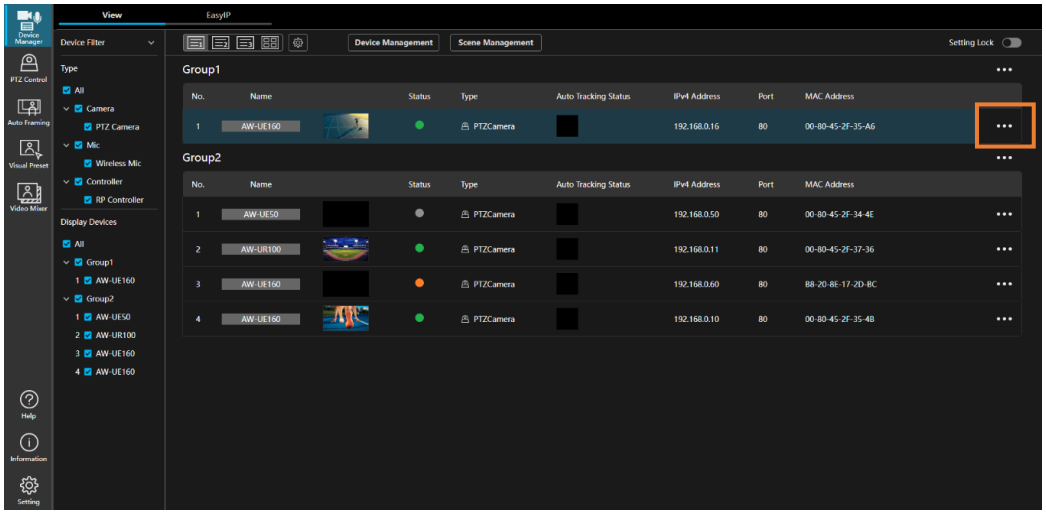


デバイスメニューの操作

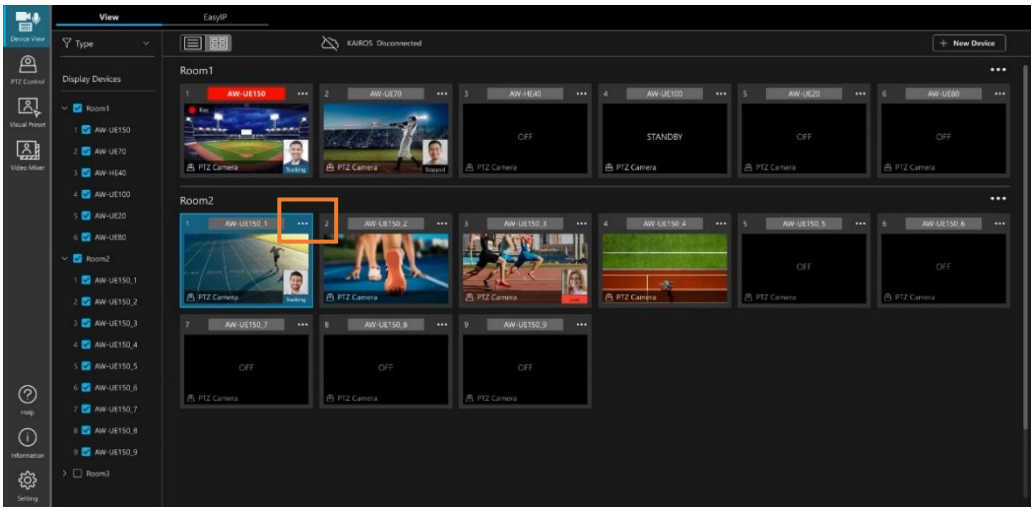
デバイスメニューを表示する

デバイスに対する操作はデバイスメニューから行います。
以下の手順でデバイスメニューを表示します。

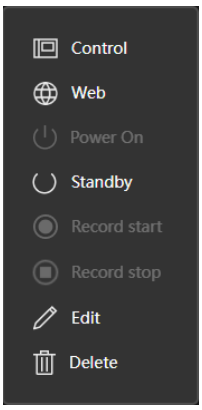
1. View 画面で操作対象のデバイスを選択します。
2. 選択したデバイスのデバイスメニュー表示ボタンをクリックします。
   - リスト表示のとき
     デバイス表示の右端にある…ボタンをクリックします。



   - サムネイル表示のとき
     サムネイル表示の右上にある…ボタンをクリックします。

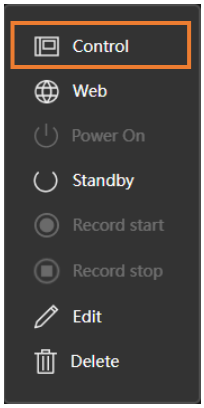


3. デバイスメニューが表示されます。



デバイスの操作画面を開く

1. 前節「デバイスメニューを表示する」の内容に従ってデバイスメニューを表示します。
2. デバイスメニューの[Control]を選択します。

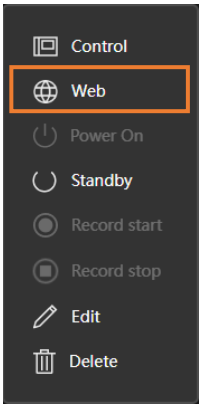


3. 選択されたデバイスの Type に応じた操作画面に切り替わります。
   Type がリモートカメラのときは PTZ Control 機能の画面に切り替わります。

<NOTE>
・デバイスの Type によっては操作画面を持たないため、画面が切り替わらない場合があります。

デバイスの Web 画面を開く

1. 前節「デバイスメニューを表示する」の内容に従ってデバイスメニューを表示します。
2. デバイスメニューの[Web]を選択します。

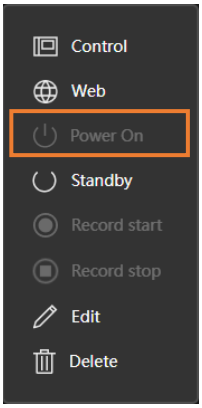


3. 選択されたデバイスの Web 画面が Web ブラウザに表示されます。

<NOTE>
・Web 画面を持たないデバイスの場合は、[Web]項目が無効となり選択できません。

デバイスの電源を ON にする

1. 前節「デバイスメニューを表示する」の内容に従ってデバイスメニューを表示します。
2. デバイスメニューの[Power ON]を選択します。

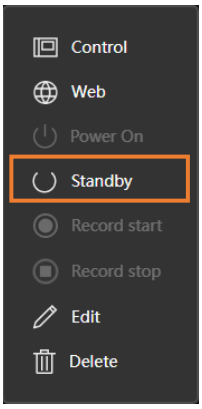


3. 選択されたデバイスの電源が ON になります。

<NOTE>
・電源管理機能を持たないデバイスの場合は、[Power ON]項目が無効となり選択できません。
・デバイス Type によっては、電源 ON 状態に移行した後の動作を設定することができます。詳細は本節の「デバイスの登録情報・設定を変更する」を参照ください。

デバイスをスタンバイ状態にする

1. 前節「デバイスメニューを表示する」の内容に従ってデバイスメニューを表示します。
2. デバイスメニューの[Standby]を選択します。

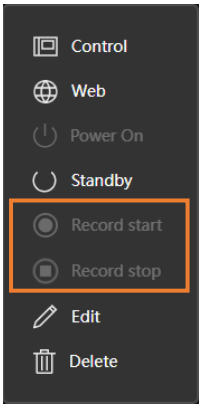


3. 選択されたデバイスがスタンバイ状態になります。

<NOTE>
・電源管理機能を持たないデバイスの場合は、[Standby]項目が無効となり選択できません。
・デバイス Type によっては、スタンバイ状態に移行する前の動作を設定することができます。詳細は本節の「デバイスの登録情報・設定を変更する」を参照ください。

デバイスの映像記録を開始／停止する

1. 前節「デバイスメニューを表示する」の内容に従ってデバイスメニューを表示します。
2. 映像記録を開始するときはデバイスメニューの[Record start]を、映像記録を停止するときはデバイスメニューの[Record stop]を選択します。

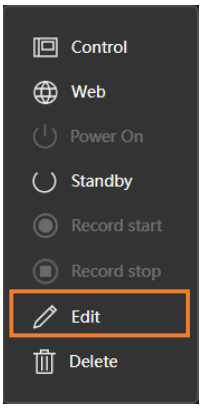


3. 選択されたデバイスの映像記録が開始／停止されます。

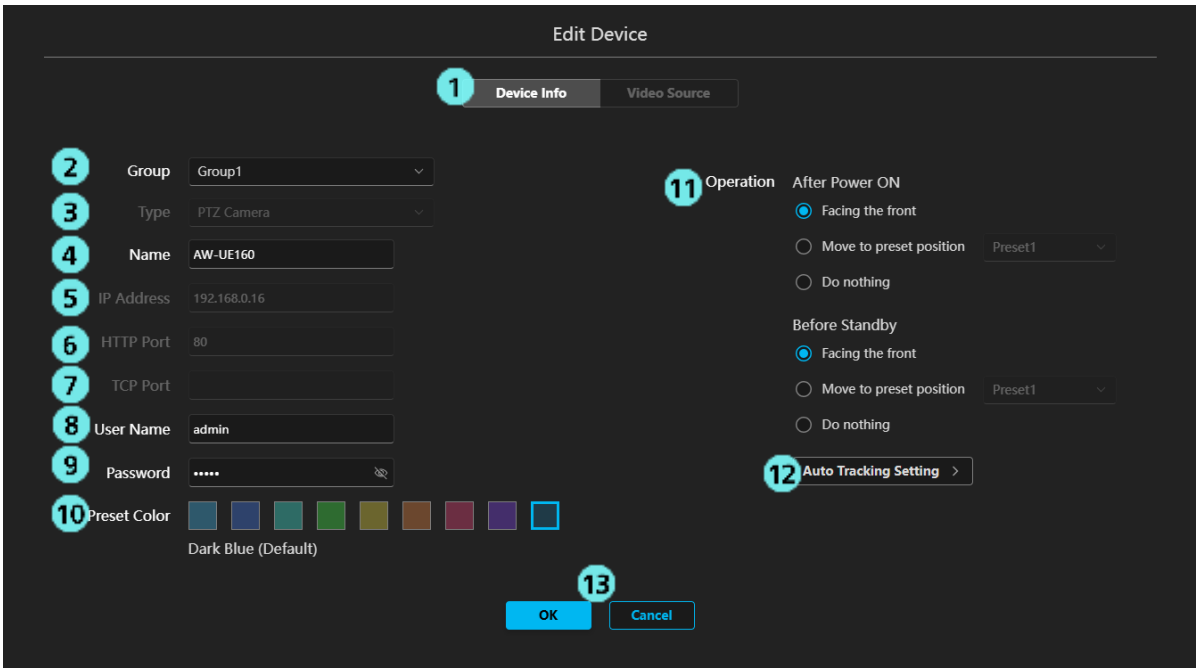
<NOTE>
・映像記録機能を持たないデバイスの場合は、[Record start] [Record stop]項目が無効となり選択できません。

デバイスの登録情報・設定を変更する

1. 前節「デバイスメニューを表示する」の内容に従ってデバイスメニューを表示します。
2. デバイスメニューの[Edit]を選択します。



3. デバイス設定画面が表示されます。
   内容を変更して OK ボタンをクリックすると変更が反映されます。



1) 編集内容切り替えタブ
   現在のバージョンでは[Device Info]タブ（上図の編集内容）のみ有効です。

2) Group
   デバイスが所属するグループを設定します。

3) Type
   デバイスの Type を表示します。

4) Name
   デバイスの表示名を設定します。

5) IP Address
   デバイスの IPv4 アドレスを表示します。

6) HTTP Port

デバイスの HTTP ポート番号を表示します。

7) TCP Port

デバイス Type が Studio Camera のとき、TCP ポート番号を表示します。

8) User Name

デバイスのアカウント名を設定します。

9) Password

デバイスのパスワードを設定します。

10) Preset Color

本ソフトウェアの PTZ Control 機能で登録済プリセットを表示するときの表示色を設定します。

11) Operation

・After Power ON

本ソフトウェアからリモートカメラの電源を ON にする操作を行ったとき、電源 ON 状態移行後に行う動作を設定します。

Facing the front：カメラを正面に向けます。

Move to the preset position：指定されたプリセット番号を呼び出します。

Do nothing：何も動作を行いません。

・Before Standby

本ソフトウェアからリモートカメラをスタンバイ状態にする操作を行ったとき、スタンバイ移行前に行う動作を設定します。

Facing the front：カメラを正面に向けます。

Move to the preset position：指定されたプリセット番号を呼び出します。

Do nothing：何も動作を行いません。

12) Auto Tracking Setting

自動追尾の設定ダイアログを表示します。

13) OK/Cancel ボタン

OK ボタンをクリックすると変更を反映して本画面を閉じます。

Cancel ボタンをクリックすると変更を破棄して本画面を閉じます。

<NOTE>

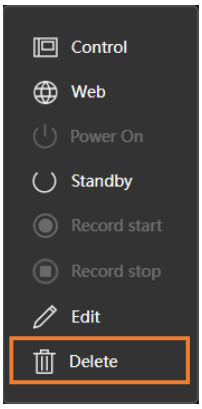
・3)、5)、6) 、7)の項目は表示のみで、設定することはできません。

・10)～12)の項目はデバイス Type が PTZ Camera のときのみ表示されます。

・PTZ Control 機能の詳細は PTZ Control 機能の操作説明書を参照してください。PTZ Control 機能の操作説明書は[Help]ボタンをクリックして、メニューから[PTZ Control]を選択すると表示されます。

デバイスを削除する

1. 前節「デバイスメニューを表示する」の内容に従ってデバイスメニューを表示します。
2. デバイスメニューの[Delete]を選択します。



3. 削除確認メッセージが表示されます。[OK]をクリックすると選択されたデバイスが削除されます。

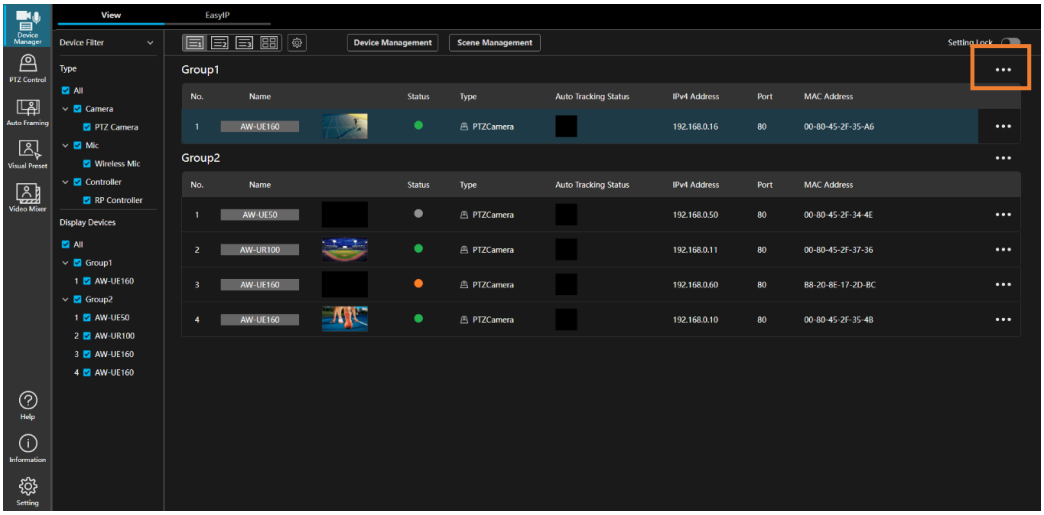
グループメニューの操作

グループメニューを表示する

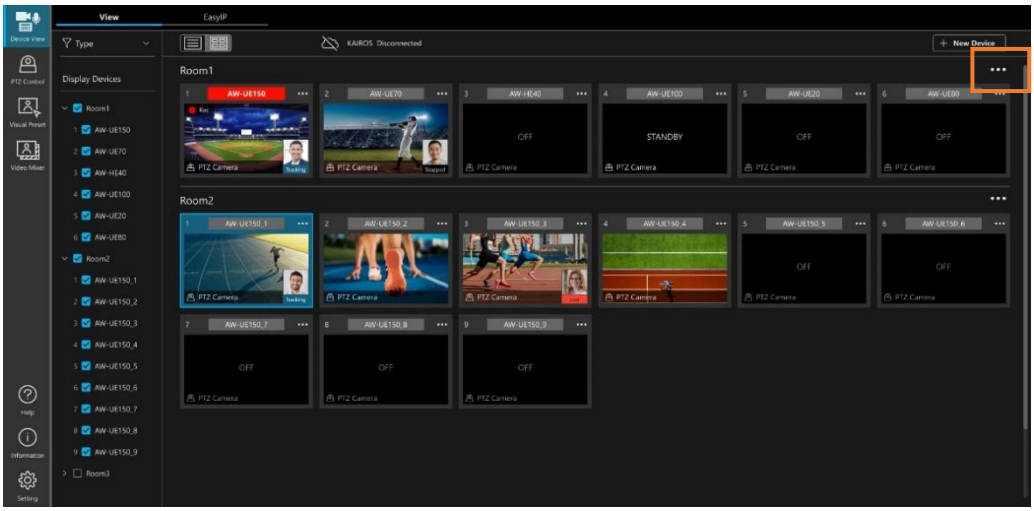
グループに対する操作はグループメニューから行います。
以下の手順でグループメニューを表示します。

1. View 画面で、操作対象のグループ名表示の右端にあるグループメニュー表示ボタンをクリックします。

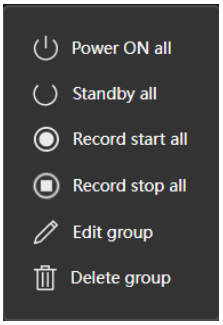
・リスト表示のとき
グループ名表示の右端にある…ボタンをクリックします。



・サムネイル表示のとき
グループ名表示の右端にある…ボタンをクリックします。

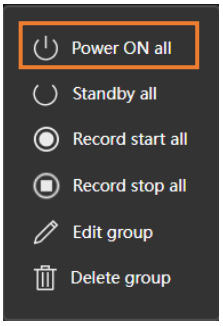


2. グループメニューが表示されます。



グループ内の全デバイスの電源を ON にする

1. 前節「グループメニューを表示する」の内容に従ってグループメニューを表示します。
2. グループメニューの[Power ON all]を選択します。



3. グループ内の全デバイスの電源が ON になります。

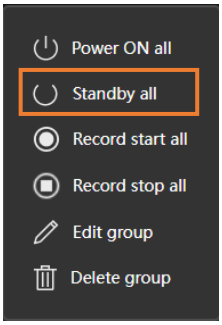
<NOTE>

・電源管理機能を持たないデバイスがグループに含まれていた場合、そのデバイスに対しては何も行われません。

・デバイス Type によっては、電源 ON 状態に移行した後の動作を設定することができます。詳細は本節の「デバイスの登録情報・設定を変更する」を参照ください。

グループ内の全デバイスをスタンバイ状態にする

1. 前節「グループメニューを表示する」の内容に従ってグループメニューを表示します。
2. グループメニューの[Standby all]を選択します。

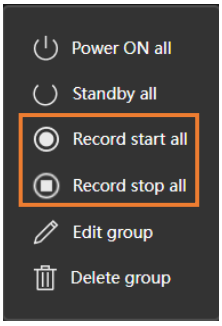


3. グループ内の全デバイスがスタンバイ状態になります。

<NOTE>
・電源管理機能を持たないデバイスがグループに含まれていた場合、そのデバイスに対しては何も行われません。
・デバイス Type によっては、スタンバイ状態に移行する前の動作を設定することができます。詳細は本節の「デバイスの登録情報・設定を変更する」を参照ください。

グループ内の全デバイスの映像記録を開始／停止する

1. 前節「グループメニューを表示する」の内容に従ってグループメニューを表示します。
2. 映像記録を開始するときはグループメニューの[Record start all]を、映像記録を停止するときはグループメニューの[Record stop all]を選択します。

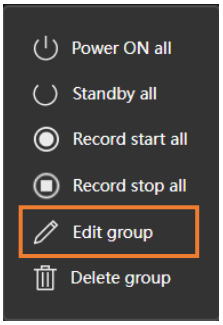


3. グループ内の全デバイスの映像記録が開始／停止されます。

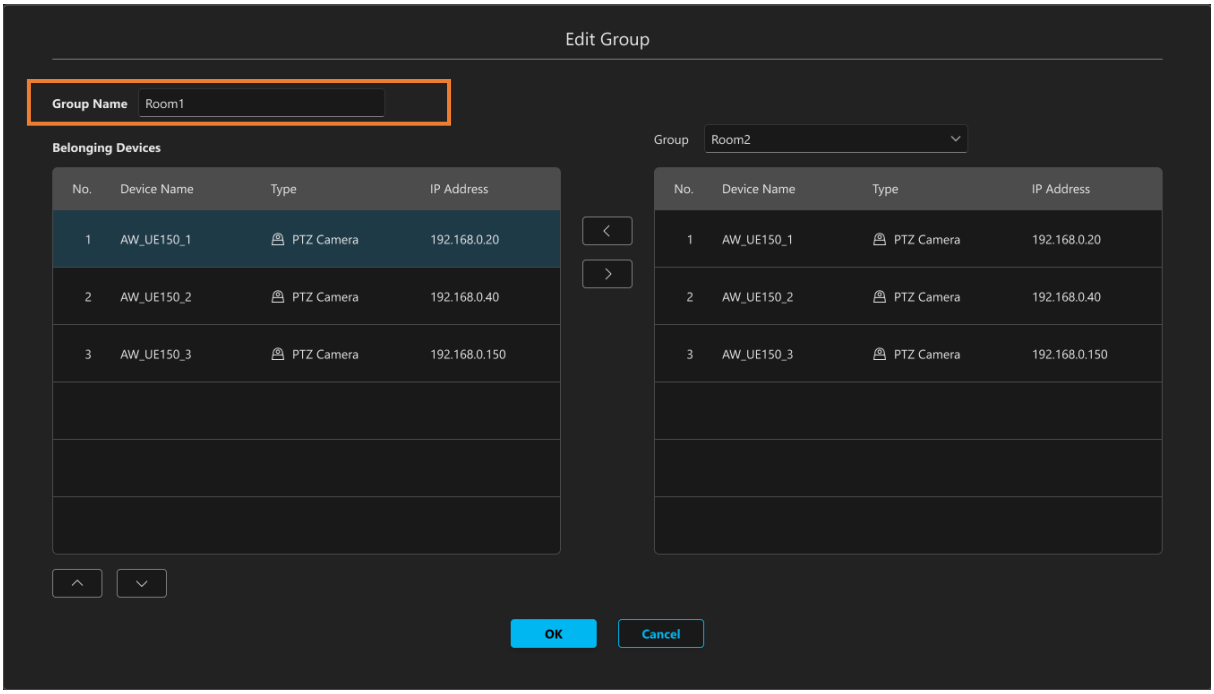
<NOTE>
・映像記録機能を持たないデバイスがグループに含まれていた場合、そのデバイスに対しては何も行われません。

グループの表示名を変更する

1. 前節「グループメニューを表示する」の内容に従ってグループメニューを表示します。
2. グループメニューの[Edit group]を選択します。



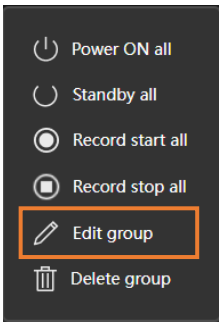
3. グループ設定画面が表示されます。
   [Group Name]欄でグループの表示名を変更します。



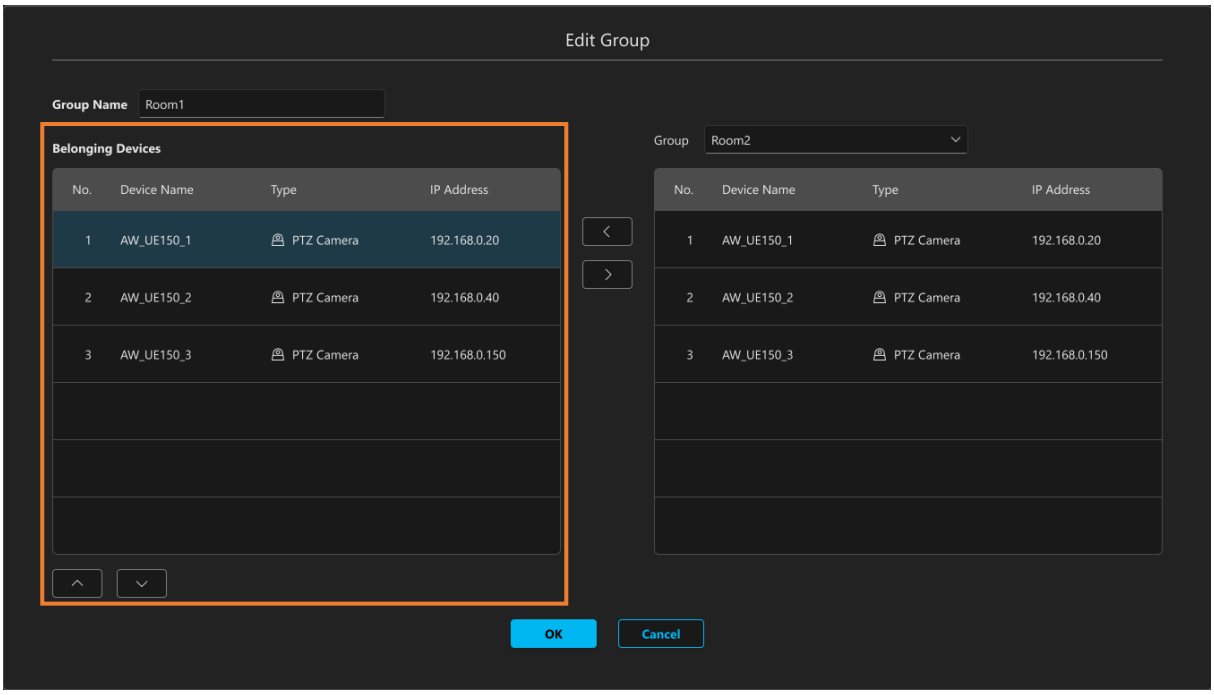
4. [OK]ボタンをクリックすると変更が反映されます。

グループ内のデバイス表示順を変更する

1. 前節「グループメニューを表示する」の内容に従ってグループメニューを表示します。
2. グループメニューの[Edit group]を選択します。



3. グループ設定画面が表示されます。
   [Belonging Devices]欄に操作対象グループに属するデバイスの一覧が表示されています。
   [Belonging Devices]欄でデバイスを選択して[Belonging Devices]欄下部の上下ボタンをクリックすると、デバイスの表示順が変更されます。



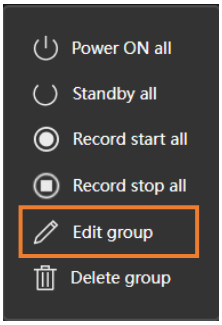
4. [OK]ボタンをクリックすると変更が反映されます。

＜NOTE＞

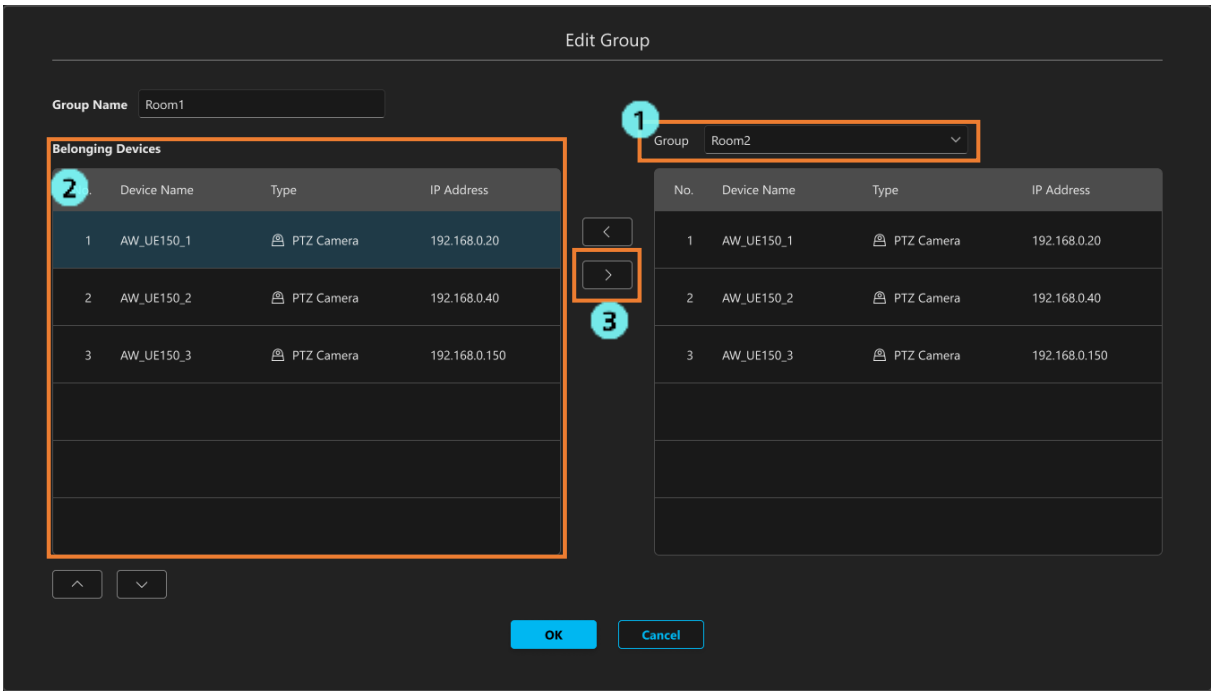
・デバイス表示順の変更は、デバイスの一覧表示上でデバイスをドラッグ＆ドロップして行うこともできます。

グループ内のデバイスを別のグループに移動する

1. 前節「グループメニューを表示する」の内容に従ってグループメニューを表示します。
2. グループメニューの[Edit group]を選択します。



3. グループ設定画面が表示されます。
   [Belonging Devices]欄に操作対象グループに属するデバイスの一覧が表示されています。
   設定画面の右側の[Group]欄にはドロップダウンリストで選択されたグループに属するデバイスの一覧が表示されます。



以下の操作を行ってデバイスを移動します。

1) [Group]欄のドロップダウンリストで移動先のグループを選択します。
2) [Belonging Devices]欄で、移動したいデバイスを選択します。
3) 設定画面中央の[>]ボタンをクリックすると、選択されているデバイスが[Group]欄のグループに移動します。

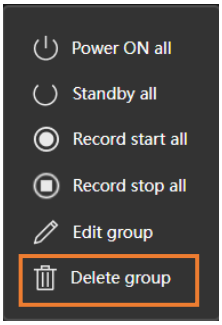
<NOTE>

・[Group]欄でデバイスを選択して設定画面中央の[<]ボタンをクリックすることで、[Group]欄のデバイスを[Belonging Devices]欄に移動させることができます。

5. [OK]ボタンをクリックすると変更が反映されます。

グループを削除する

1. 前節「グループメニューを表示する」の内容に従ってグループメニューを表示します。
2. グループメニューの[Delete group]を選択します。



3. 削除確認メッセージが表示されます。[OK]をクリックすると選択されたグループと、グループに属する全デバイスが削除されます。

内蔵 EasyIP Setup Tool Plus 機能

主な機能

1. デバイスの検出・情報表示
   EasyIP に対応したデバイスをネットワークから検出することができます。また、デバイスの MAC Address, Ipv4 Address 等の設定情報を表示することもできます。

2. Identify
   デバイスがリモートカメラの場合、指定したカメラの電源ランプを高速点滅することができます。

3. Network Settings
   指定したデバイスのネットワーク設定情報を変更することができます。

4. Web GUI
   指定したデバイスの Web 画面に遷移することができます。

5. Auto IP
   指定したデバイスの IP アドレスを連続したアドレスに割り当てることができます。

6. Administrator Registration
   指定したデバイスに管理者アカウントを登録することができます。

7. Firmware Update
   接続されたデバイスのファームウェアをバージョンアップすることができます。

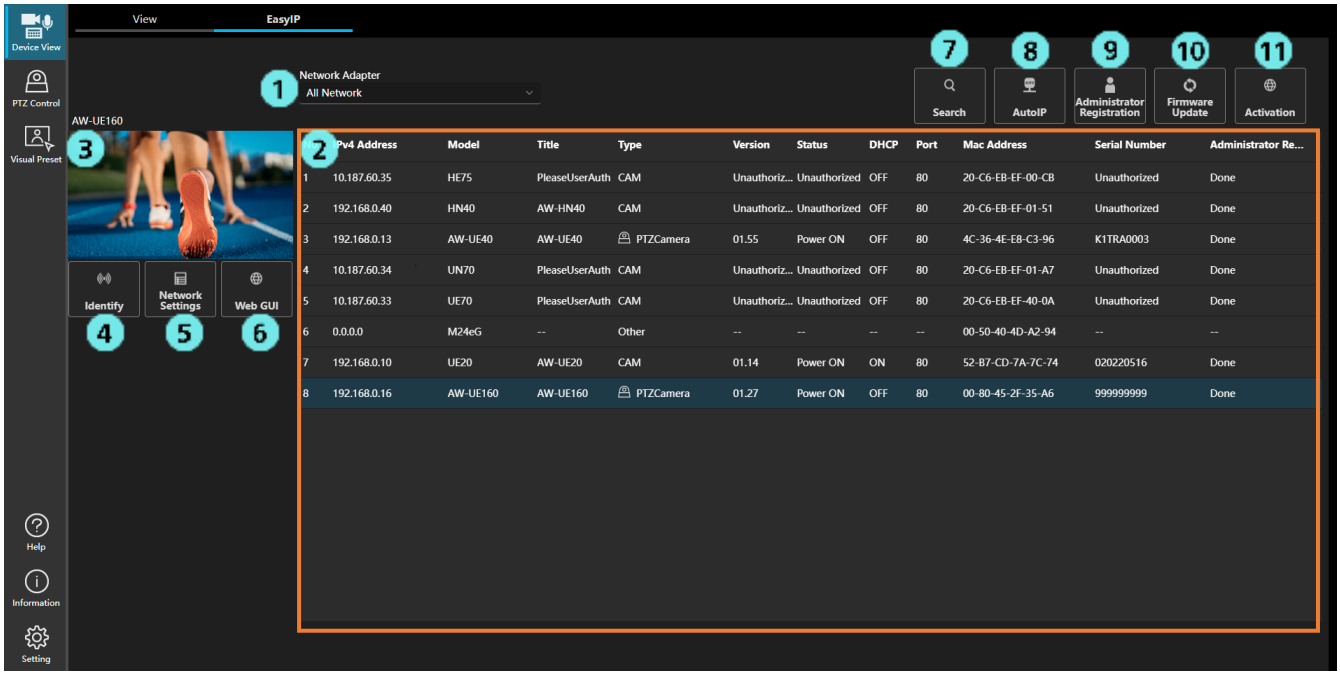
8. Activation
   各種有償ライセンスのアクティベーションを行うことができます。

＜NOTE＞

・デバイスがボックススタイルカメラ AW-UB10, AW-UB50 のときは、Network Settings 機能と Administrator Registration 機能のみ使用可能です。

画面の説明

メイン画面



1. ネットワーク選択
   検索に使用するネットワークを設定することができます。
2. デバイスリスト表示
   ネットワーク上を検索して検出されたデバイスの一覧が表示されます。
3. カメラ映像表示
   デバイスがリモートカメラのとき、指定したカメラの映像を表示することができます。
   ※カメラのユーザー認証が ON の場合、映像を取得することができません。
4. Identify
   デバイスがリモートカメラのとき、指定したカメラの電源ランプを高速点滅させることができます。
5. Network Settings
   指定したデバイスのネットワーク設定情報を変更することができます。
6. Web GUI
   指定したデバイスの Web 画面を表示することができます。
7. Search
   ネットワーク上のデバイスの検出動作を行います。
8. Auto IP
   指定したデバイスの IP アドレスを連続したアドレスに割り当てることができます。
9. Administrator Registration
   指定したデバイスに管理者アカウントを登録することができます。
10. Firmware Update
    指定したデバイスのファームウェアデータをアップデートすることができます。
11. Activation
    各種有償ライセンスのアクティベーションを行うことができます。

デバイスリスト表示

・IPv4 Address

デバイスの IPv4 Address を表示します。

IPv4 Address をクリックすることで、デバイス一覧を IPv4 Address の昇順、または降順に並び替えることができます。

・Model

デバイスのモデル名を表示します。

Model をクリックすることで、デバイス一覧を Model 毎の表示に並び替えることができます。

・Title

デバイスのタイトルを表示します。

Title をクリックすることで、デバイス一覧を Title の昇順、または降順に並び替えることができます。

・Category

機器カテゴリを表示します。

カメラの場合、CAM と表示されます。

Category をクリックすることで、デバイス一覧を Category 毎の表示に並び替えることができます。

・FW Version

デバイスのファームウェアバージョンを表示します。

※デバイスのユーザー認証が ON の場合、情報を取得することができません。

・Status

デバイスの状態を表示します。

PowerON：電源 ON　Standby：　スタンバイ状態

※デバイスのユーザー認証が ON の場合、情報を取得することができません。

Status をクリックすることで、デバイス一覧を Status 毎の表示に並び替えることができます。

・DHCP

デバイスのネットワーク設定情報を表示します。

ON：DHCP 設定　OFF：固定 IP 設定

DHCP をクリックすることで、デバイス一覧を DHCP 毎の表示に並び替えることができます。

・Port

デバイスのポート番号を表示します。

Port をクリックすることで、デバイス一覧をポート番号の昇順、または降順に並び替えることができます。

・MAC Address

デバイスの MAC Address を表示します。

・Serial Number

デバイスのシリアル番号を表示します。

※デバイスのユーザー認証が ON の場合、情報を取得することができません。

・Administrator Registration

管理者アカウントの設定情報を表示します。

Done：設定済み　None：未設定

Administrator Registration をクリックすることで、デバイス一覧を Administrator Registration 毎の表示に並び替えることができます。

・IPv6 Address

デバイスの IPv6 Address を表示します。

IPv6 Address をクリックすることで、デバイス一覧を IPv6 Address の昇順、または降順に並び替えることができます。

・Web 画面への遷移

ダブルクリックを行うことで、選択したデバイスの Web 画面に遷移することができます。

<NOTE>

・情報が取得できない場合の表記

Unsupported：情報取得がサポートされていないデバイスです。

Unauthorized：デバイスの User 認証が ON のため、情報を取得することができません。

--：動作サポート対象外のデバイスです。

Identify 機能

指定したリモートカメラの電源ランプを高速点滅させることができます。

操作方法

1. デバイスリストの一覧より、カメラを選択します。
2. Identify ボタンをクリックします。
3. カメラの電源ランプが高速点灯します。

<NOTE>

・電源開始から 20 分が経過したカメラは Identify 機能を利用することができません。
20 分経過後も操作を行いたい場合、カメラのネットワーク設定で
[Easy IP Setup accommodate period]を”Unlimited”に設定してください。

・リモートカメラ以外のデバイスでは、本ボタンの機能をサポートしていないことがあります。

Network Settings 機能

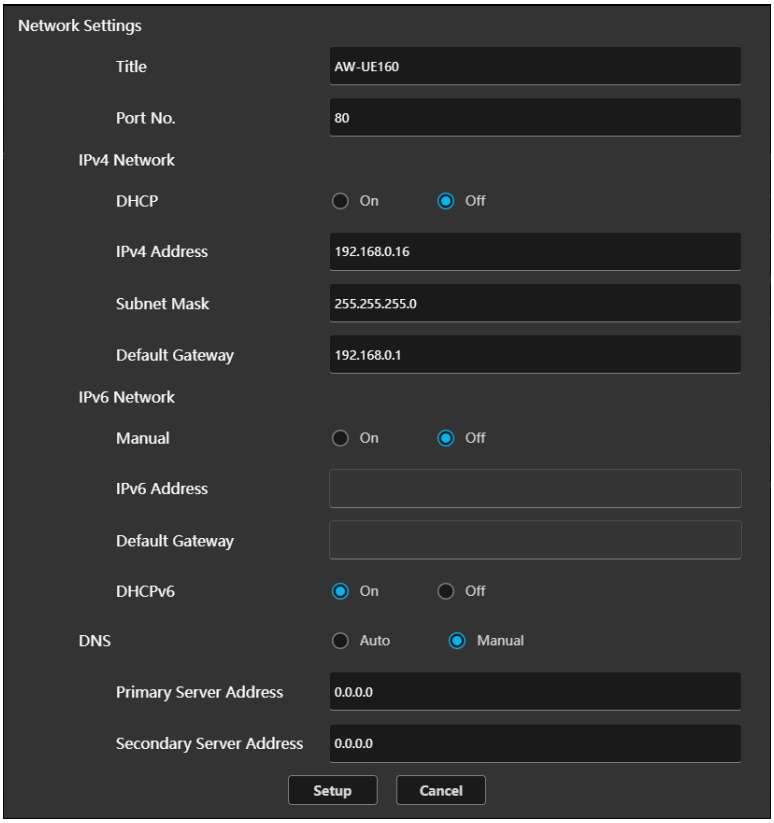
指定したデバイスのネットワーク設定情報を変更することができます。

操作方法

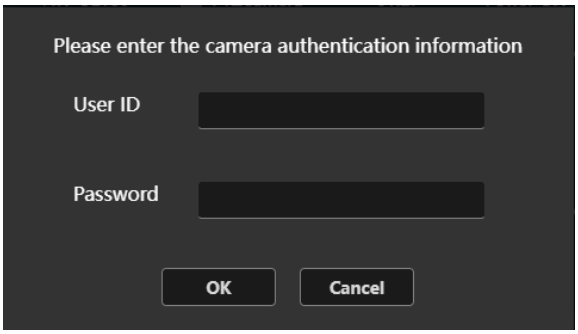
※表示パターンはデバイスの機種によって異なります。

・表示パターン①

デバイスタイトル・ポート番号・IPv4・IPv6・DNS の設定を行うことができます。



1. ネットワーク設定情報を変更します。
2. [Setup]ボタンをクリックすると、設定を開始します。
3. デバイスの User ID, Password を入力します。

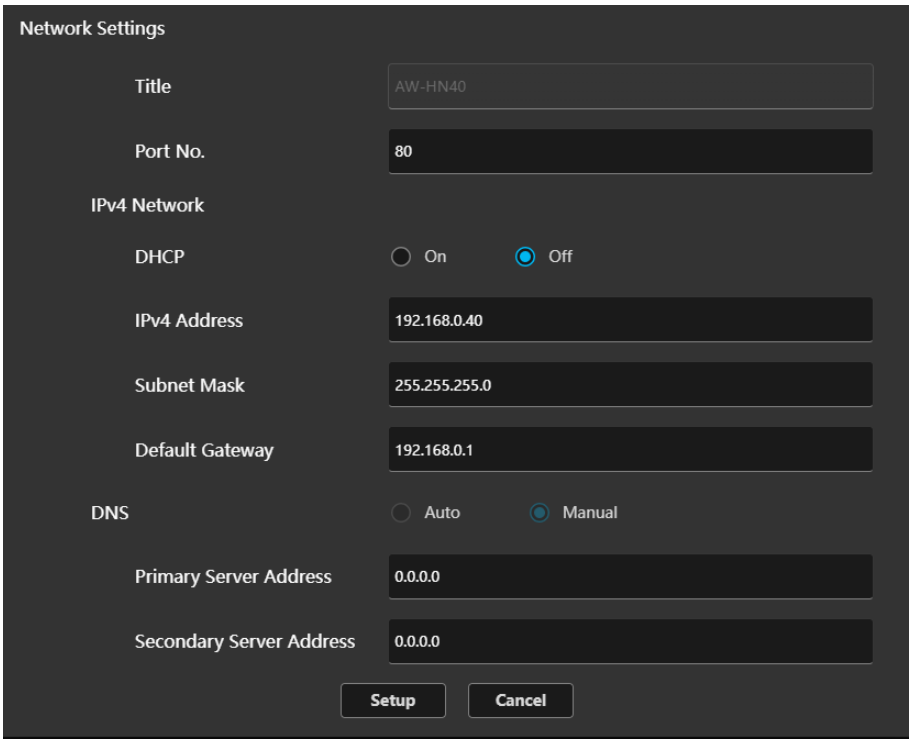


4. 設定に成功した場合、”Setup Camera Successfully”と表示されます。
5. 設定に失敗した場合、”Fail to Setup Camera”と表示されます。

・表示パターン②

ポート番号・IPv4・DNS の設定を行うことができます。

※デバイスタイトルの設定を行うことはできません。



1. ネットワーク設定情報を変更します。
2. [Setup]ボタンをクリックすると、設定を開始します。
3. 設定に成功した場合、”Setup Camera Successfully”と表示されます。
4. 設定に失敗した場合、”Fail to Setup Camera”と表示されます。

<NOTE>

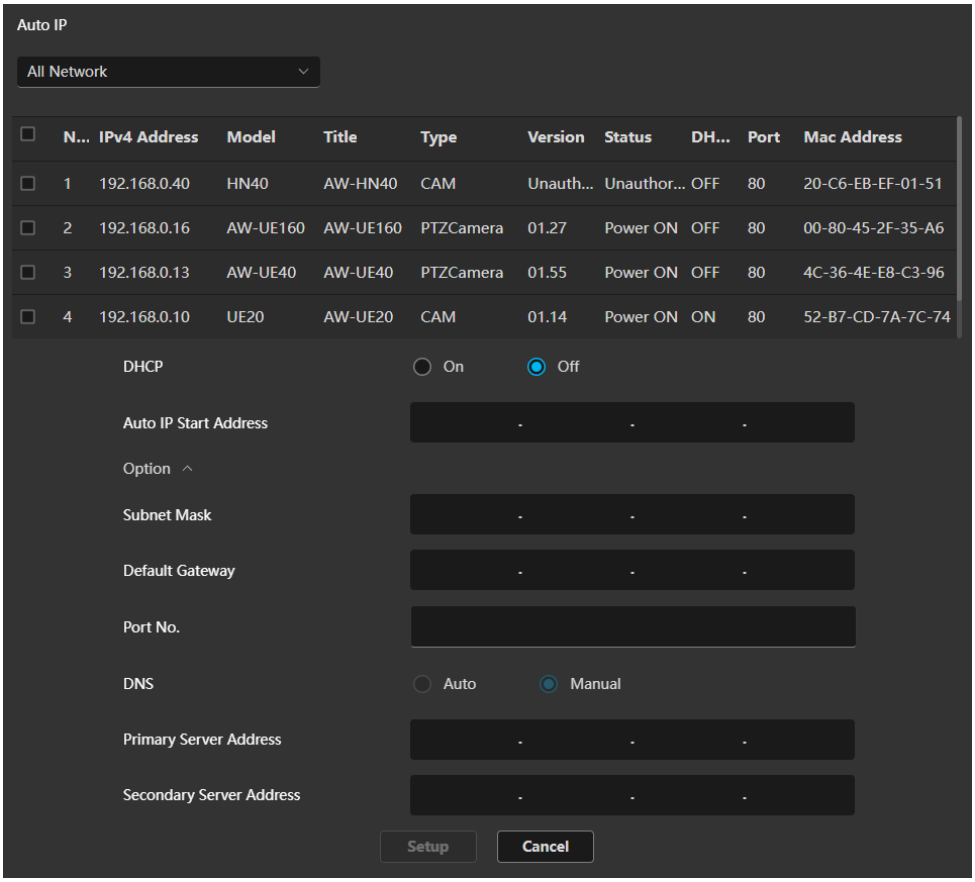
・電源開始から 20 分が経過したデバイスは Identify 機能を利用することができません。

20 分経過後も操作を行いたい場合、デバイスのネットワーク設定で

[Easy IP Setup accommodate period]を”Unlimited”に設定してください。

Auto IP 機能

指定したデバイスの IP アドレスを連続したアドレスに割り当てることができます。
また、DHCP 設定を一括で切り替えることができます。



操作方法

1. 設定を行うデバイスのチェックボックスを選択します。※複数のデバイスを選択可能です。
2. DHCP ON/OFF を選択します。
3. Auto IP Start Address の入力
   - DHCP OFF を選択している場合

     Auto IP Start Address に、割り当て開始のアドレスを入力します。

     例）192.168.0.10 と入力した場合、一覧の上から順に

     192.168.0.10, 192.168.0.11, 192.168.0.12…

     のように、IP アドレスが設定されます。

     ※Option 項目として、サブネットマスク・デフォルトゲートウェイ・ポート番号・DNS を設定することができます。Option を選択した場合、全てのデバイスに対して値を設定します。
   - DHCP ON を選択している場合

     デバイスの DHCP 設定を ON に設定するため、Auto IP Start Address は入力することができません。
4. Setup ボタンを押すと、一覧の上から順に設定を開始します。
5. 設定に成功した場合、成功したデバイスの一覧が表示されます。
6. 設定に失敗した場合、失敗したデバイスの一覧が表示されます。

<NOTE>

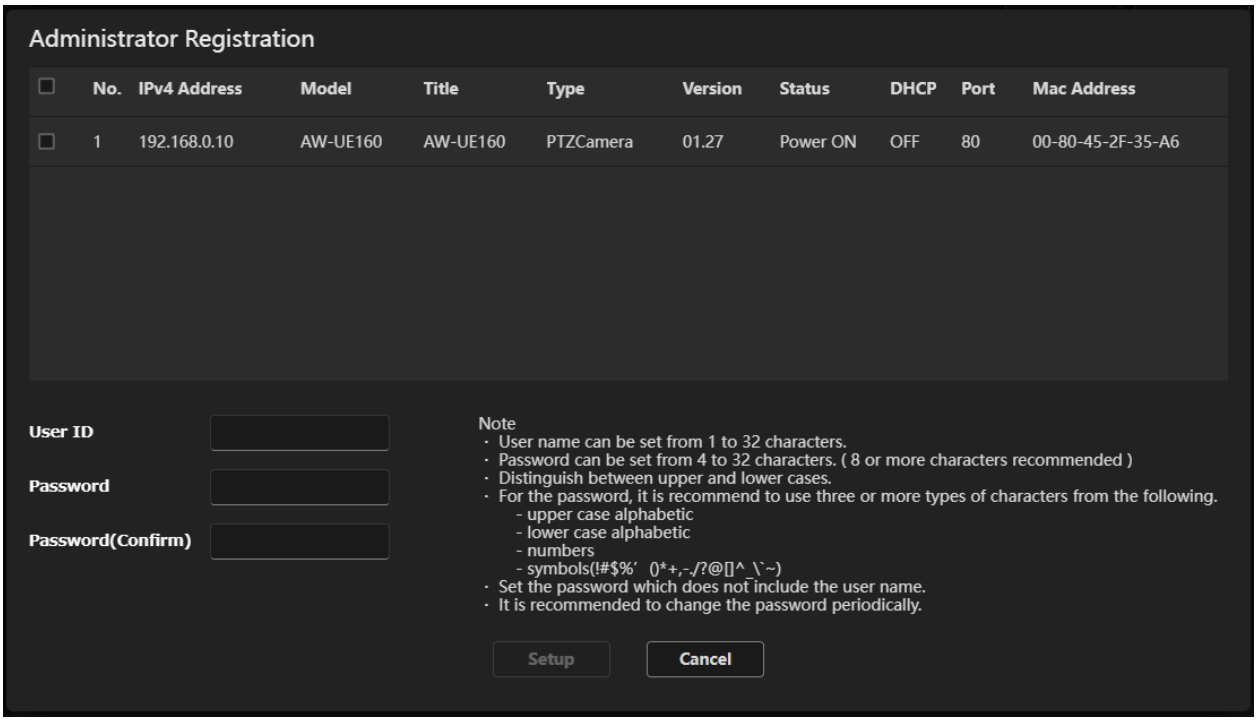
・電源開始から 20 分が経過したデバイスは Identify 機能を利用することができません。

20 分経過後も操作を行いたい場合、デバイスのネットワーク設定で
[Easy IP Setup accommodate period]を”Unlimited”に設定してください。

Administrator Registration 機能

デバイスの管理者アカウントを登録することができます。

デバイス一覧には、管理者アカウントが登録されていないデバイスのみが表示されます。



操作方法

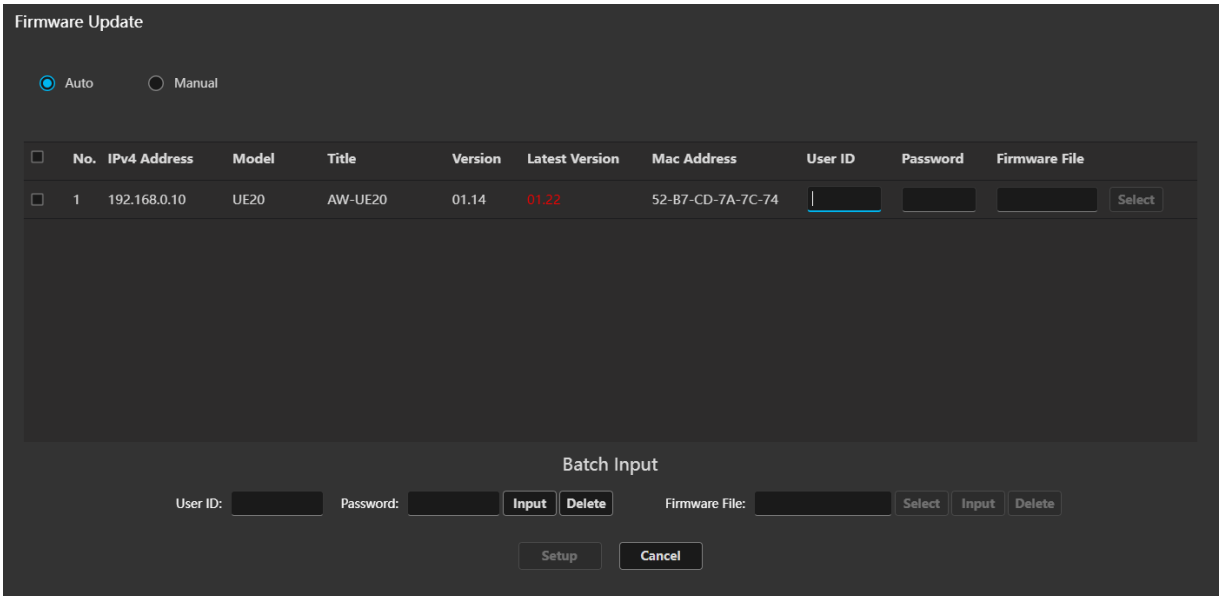
1. 管理者アカウントを登録するデバイスのチェックボックスを選択します。
   ※複数のデバイスを選択可能です。
   ※同じ IP Address のデバイスが存在する場合、設定を行うことはできません。
   Network Settings, Auto IP 機能を利用してデバイスの IP Address を変更してください。
2. User Name, Password を入力します。
3. Setup ボタンを押すと、登録を開始します。
4. 登録に成功した場合、成功したデバイスの一覧が表示されます。
5. 登録に失敗した場合、失敗したデバイスの一覧が表示されます。

<NOTE>

・既に管理者アカウントが設定されているデバイスに対し、アカウントを登録することはできません。

Firmware Update 機能

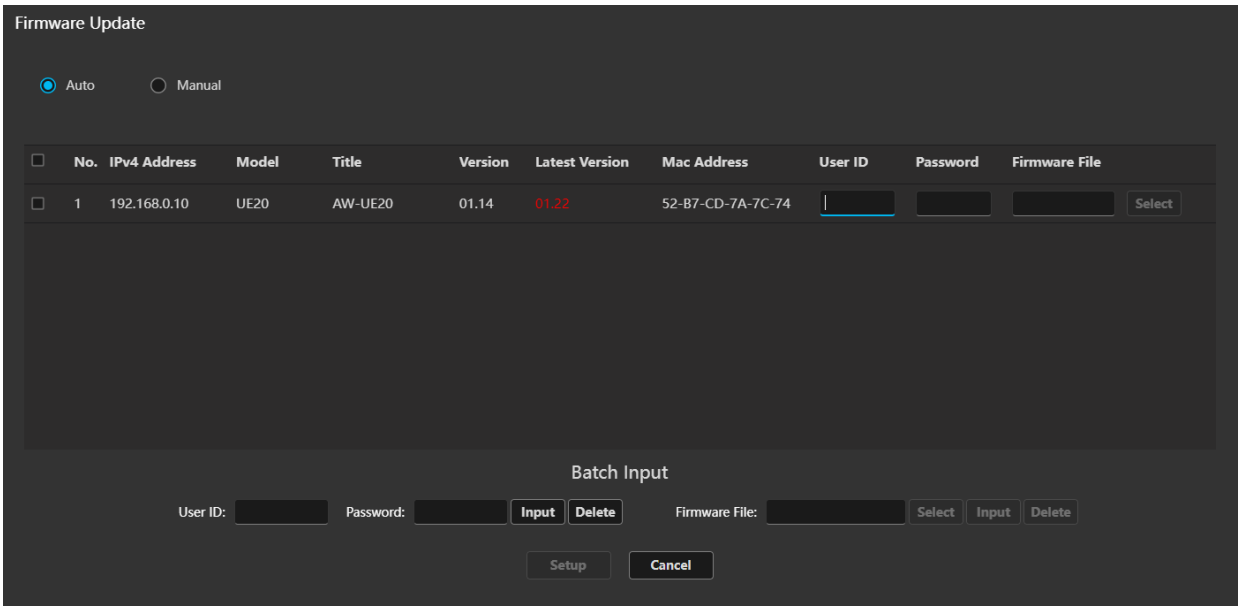
接続されたデバイスのファームウェアをバージョンアップすることができます。



Latest Version 欄にデバイスの最新ファームウェアバージョンが表示されます。
サーバーPC がインターネットに接続されているときのみ表示されます。

操作方法

・Update Method：Auto の場合



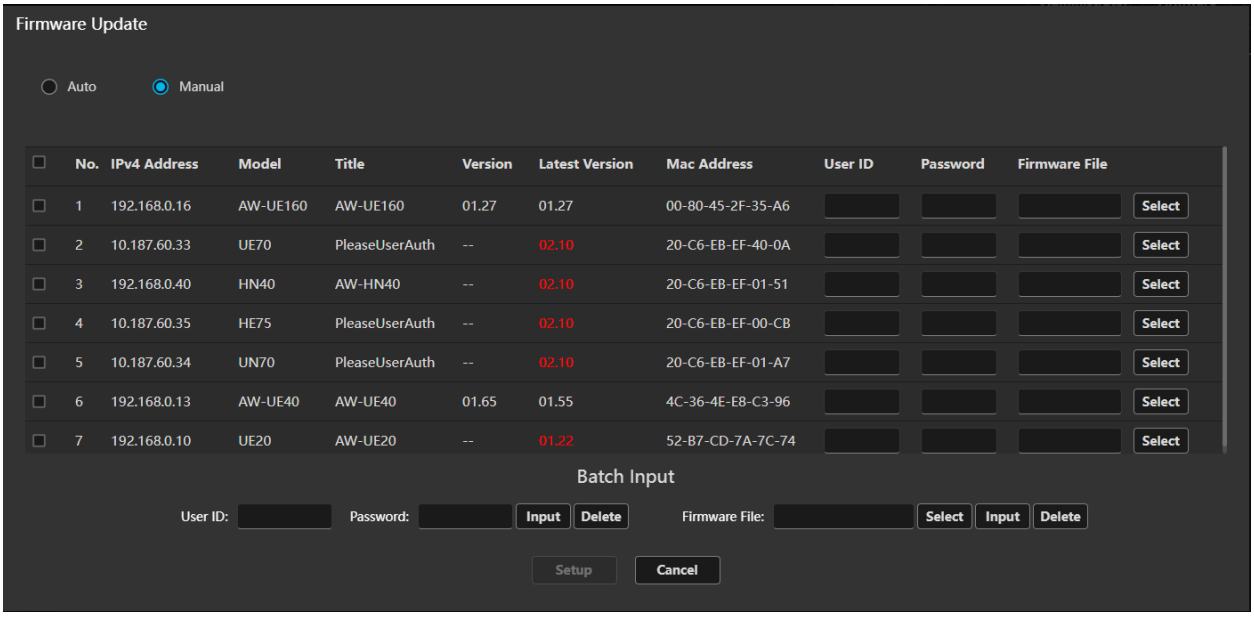
ファームウェアファイルのダウンロードからデバイスのバージョンアップまで、アプリが全てを行います。デバイス一覧には、最新のファームウェアバージョンへのバージョンアップが必要なデバイスのみが表示されます。

※Auto メソッドを利用するためには、サーバーPC がインターネットに接続されている必要があります。

バージョンアップ手順

1. バージョンアップを開始するデバイスのチェックボックスを選択します。
   ※複数のデバイスを選択可能です。
   ※同じ IP Address のデバイスが存在する場合、処理を行うことができません。
   Network Settings, Auto IP 機能を利用してデバイスの IP Address を変更してください。
2. デバイスの User ID, Password をそれぞれ入力します。
   一括入力：Batch Input 欄で値を入力し、Input ボタンを押します。
   選択されたデバイスの User ID, Password を入力することができます。
   Delete ボタンを押すと、選択されたデバイスの User ID, Password 値をクリアすることができます。
   個別入力：デバイス毎に User ID, Password を入力します。
3. Update ボタンを押すと、最新のファームウェアへのバージョンアップを開始します。
   ※バージョンアップ開始後、EasyIP 機能では他の操作ができません。
4. バージョンアップが完了した場合、成功したデバイスの一覧が表示されます。
5. バージョンアップに失敗した場合、失敗したデバイスの一覧が表示されます。

・Update Method：Manual の場合



ファームウェアファイルを PC から選択し、バージョンアップを行います。
デバイス一覧にはバージョンアップ可能なデバイスが表示されます。

注意事項

・実行は Windows PC から行う必要があります。Mac や iPad からの実行はできません。
・クライアント PC から操作を行う場合は、事前に Web Plugin（クライアント PC 用ツール）のインストールを行っておく必要があります。
弊社 Web サイト（https://eww.pass.panasonic.co.jp/pro-av/support/content/download/JP/jp2main/mps_client_tool_j.htm）からダウンロードしてインストールを行ってください。

バージョンアップ手順

1. バージョンアップを開始するデバイスのチェックボックスを選択します。

※複数のデバイスを選択可能です。

※同じ IP Address のデバイスが存在する場合、処理を行うことができません。

Network Settings, Auto IP 機能を利用してデバイスの IP Address を変更してください。

2. デバイスの User ID, Password をそれぞれ入力します。

一括入力：Batch Input 欄で値を入力し、Input ボタンを押します。

選択されたデバイスの User ID, Password を入力することができます。

Delete ボタンを押すと、選択されたデバイスの User ID, Password 値をクリアすることができます。

個別入力：デバイス毎に User ID, Password を入力します。

3. ファームウェアファイルを選択します。

一括入力：Batch Input 欄の Select ボタンをクリックすると、ファームウェアアップデート用ツールを開くかどうかの確認メッセージが表示されますので「開く」を選択します。ファームウェアアップデート用ツールが起動するので「Input」ボタンをクリック→ファームウェアファイルを選択→「Upload」ボタンをクリックの順で操作を行います。

Upload 操作を行うと、選択したファームウェアファイルが GUI に設定されます。

次に Input ボタンを押すことで、選択されたデバイスのファームウェアファイルを入力することができます。

Delete ボタンを押すと、選択されたデバイスのファームウェアファイルをクリアすることができます。

個別入力：デバイス表示行の Select ボタンをクリックすると、ファームウェアアップデート用ツールを開くかどうかの確認メッセージが表示されますので「開く」を選択します。ファームウェアアップデート用ツールが起動するので「Input」ボタンをクリック→ファームウェアファイルを選択→「Upload」ボタンをクリックの順で操作を行います。

Upload 操作を行うと、選択したファームウェアファイルが GUI に設定されます。

4. Update ボタンを押すと、選択したデバイスのバージョンアップを開始します。

※バージョンアップ開始後、EasyIP 機能では他の操作ができません。

5. バージョンアップが完了した場合、成功したデバイスの一覧が表示されます。

6. バージョンアップに失敗した場合、失敗したデバイスの一覧が表示されます。

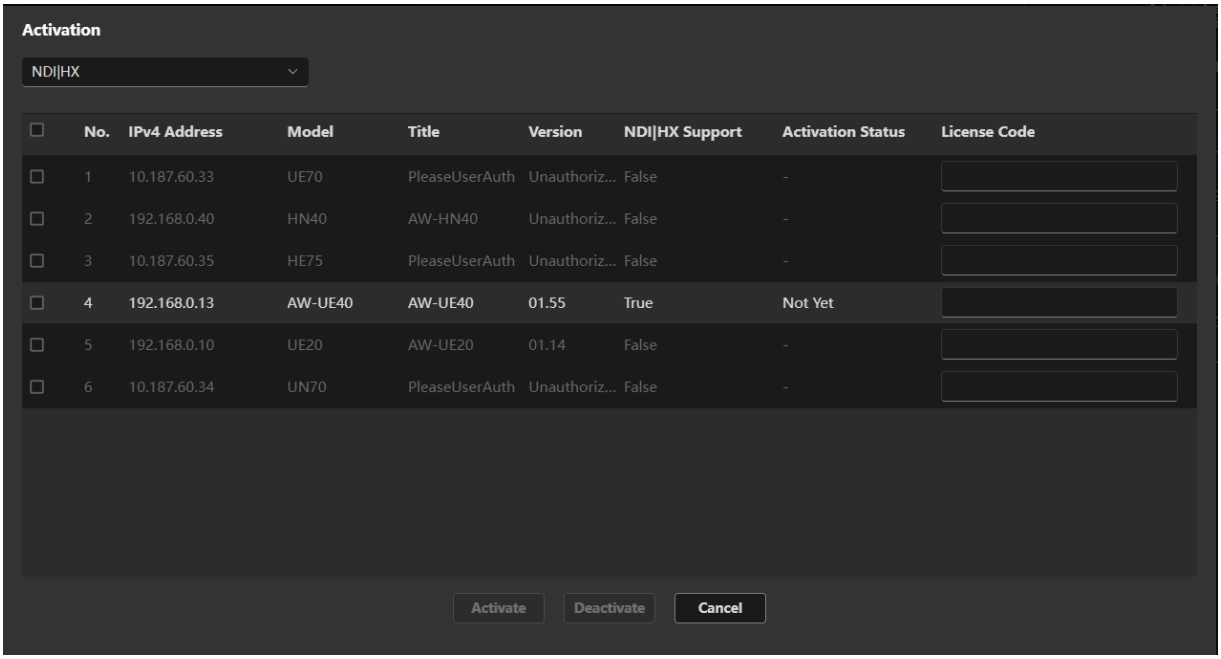
Activation 機能

デバイスの有償ライセンスのアクティベーションを行うことができます。
※本機能はサーバーPC がインターネットに接続されているときのみ利用することができます。

以下のライセンスのアクティベーションを行うことができます。
・NDI｜HX
・MoIP（SMPTE ST 2110）

■NDI｜HX ライセンスのアクティベーション

Activation 画面左上のライセンス選択ボックスで NDI|HX を選択すると、NDI｜HX ライセンスのアクティベーション画面になります。



NDI|HX Support：NDI|HX に対応しているデバイス：True
NDI|HX に非対応のデバイス：False
Activation Status：Activation が完了しているデバイス：Done
Activation が未完了のデバイス：Not Yet

Activation 手順

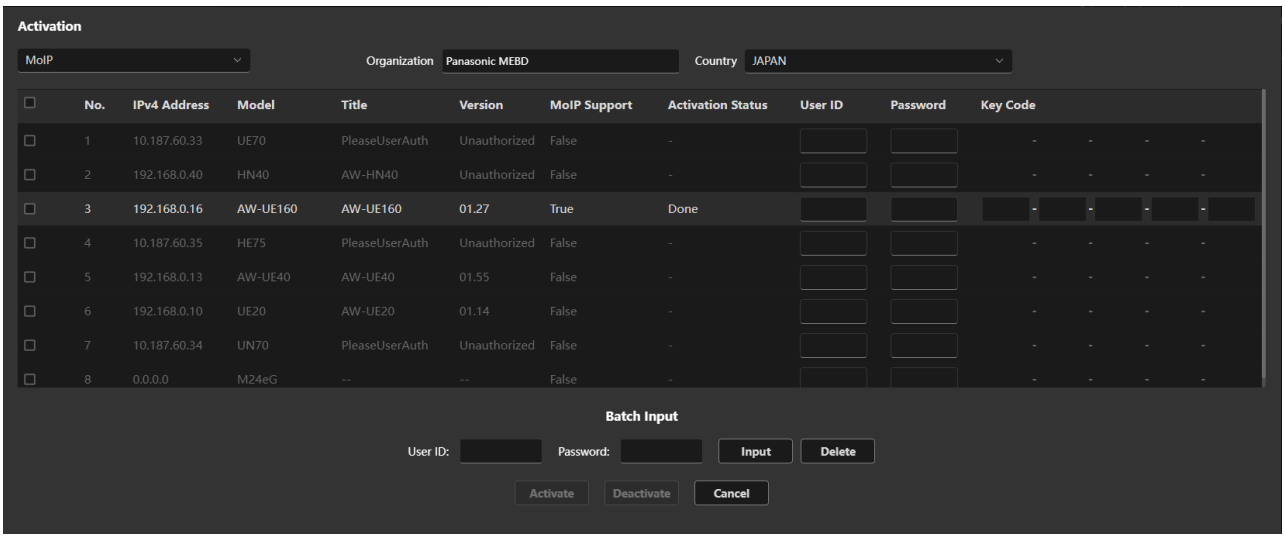
1. Activation を行いたいデバイスを選択します。
2. License Code 欄にライセンスコードを入力します。
3. Activate ボタンを押すとアクティベーションが開始されます。

Deactivation 手順

1. Deactivation を行いたいデバイスを選択します。
2. License Code 欄にライセンスコードを入力します。
3. Deactivate ボタンを押すとディアクティベーションが開始されます。

■MoIP（SMPTE ST 2110）ライセンスのアクティベーション

Activation 画面左上のライセンス選択ボックスで MoIP を選択すると、MoIP（SMPTE ST 2110）ライセンスのアクティベーション画面になります。



MoIP Support：MoIP に対応しているデバイス：True

MoIP に非対応のデバイス：False

Activation Status：Activation が完了しているデバイス：Done

Activation が未完了のデバイス：Not Yet

Activation 手順

1. Organization 欄に会社名を入力します。
   入力可能な文字：アルファベット、数値、半角スペース
   入力可能な文字数：40 文字まで
2. Country 欄で国を選択します。
3. Activation を行いたいデバイスを選択します。
4. デバイスの User ID, Password を入力します。
   一括入力：Batch Input 欄で値を入力し、Input ボタンを押します。
   選択されたデバイスの User ID, Password を入力することができます。
   Delete ボタンを押すと、選択されたデバイスの User ID, Password 値をクリアすることができます。
   個別入力：デバイス毎に User ID, Password を入力します。
5. Key Code 欄にライセンスキーコードを入力します。
6. Activate ボタンを押すとアクティベーションが開始されます。

Deactivation 手順

1. Organization 欄に会社名を入力します。
   入力可能な文字：アルファベット、数値、半角スペース
   入力可能な文字数：40 文字まで
2. Country 欄で国を選択します。
3. Deactivation を行いたいデバイスを選択します。
4. User ID, Password を入力します。

一括入力：Batch Input 欄で値を入力し、Input ボタンを押します。
選択されたデバイスの User ID, Password を入力することができます。
Delete ボタンを押すと、選択されたデバイスの User ID, Password 値をクリアすることができます。

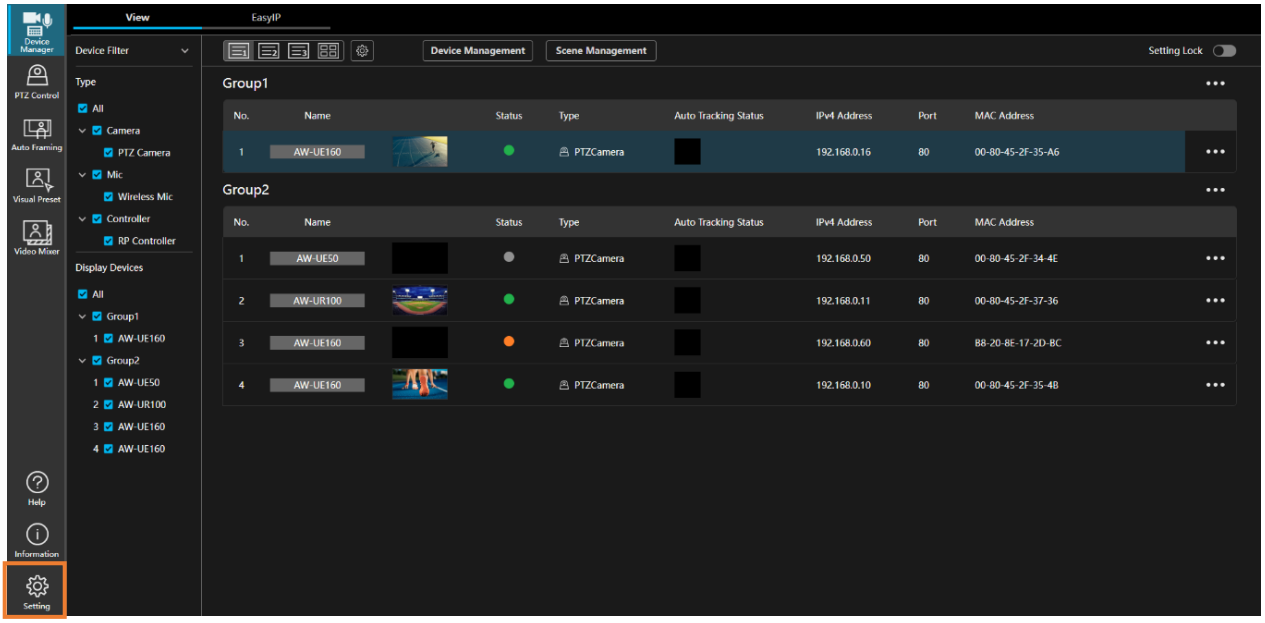
個別入力：デバイス毎に User ID, Password を入力します。

5. Key Code 欄にライセンスキーコードを入力します。
6. Deactivation ボタンを押すとディアクティベーションが開始されます。

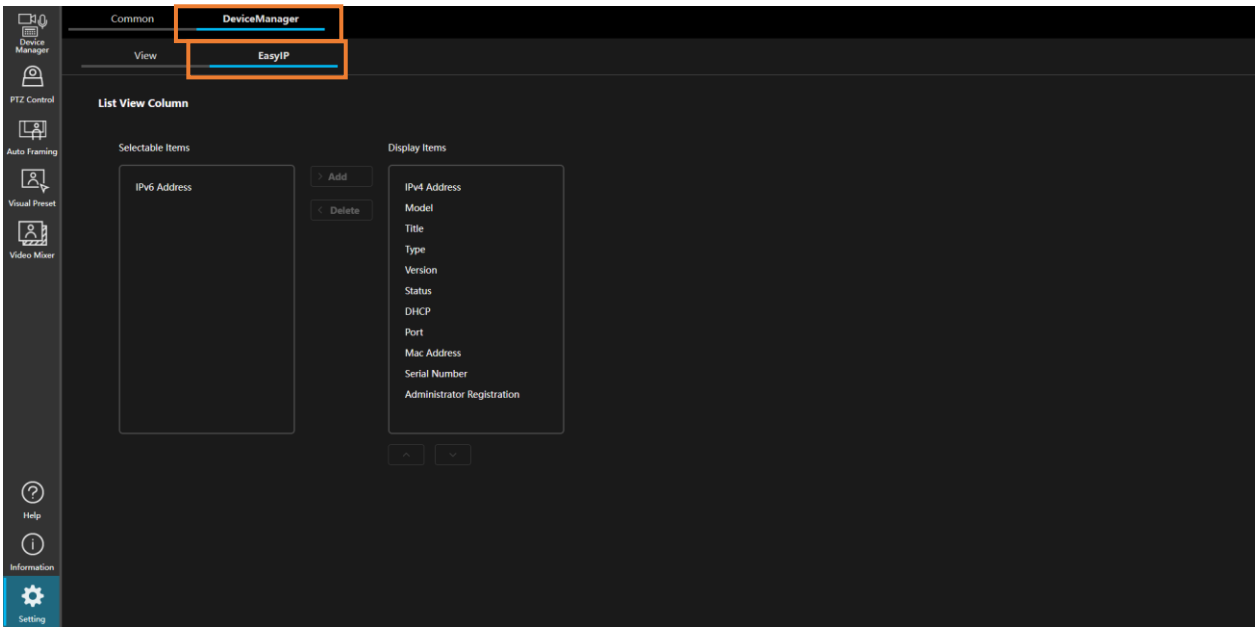
デバイスリストの表示項目を設定する

デバイスリストで表示する項目は Setting 画面で設定することができます。
以下の手順で設定を行います。

1. 機能選択エリアで[Setting]ボタンをクリックして、Setting 画面に移動します。



2. Setting 画面で[Device Manager]タブをクリックして Device Manager 機能の設定画面に移動し、[EasyIP]タブをクリックします。



3. 項目を非表示対象から表示対象に変更したい場合は[Selectable Items]内の項目を選択して[> Add]ボタンをクリックします。項目が[Display Items]に移動して表示対象になります。
   項目を表示対象から非表示対象に変更したい場合は[Display Items]内の項目を選択して[< Delete]ボタンをクリックします。項目が[Selectable Items]に移動して非表示対象になります。
   また、[Display Items]で項目を選択して[Display Items]の下にある上下ボタンをクリックすることで、項目の表示順を変更することができます。

アカウント権限による機能制限

権限による制限の一覧

Administrator/Super User/User のアカウント権限のうち Administrator 以外の権限では、使用できる機能に制限が発生します。
以下の表で〇になっている箇所が使用できる機能になります。

		Administrator	Super User	User
View タブ				
デバイスの登録		〇		
デバイス表示の絞り込み		〇	〇	〇
リスト表示の設定値変更		〇	〇	
シーンファイル操作		〇	〇	
デバイスメニュー	Control	〇	〇	〇
	Web	〇	〇	〇
	Power ON	〇		
	Standby	〇		
	Record start	〇	〇	〇
	Record stop	〇	〇	〇
	Edit	〇		
	Delete	〇		
グループメニュー	Power ON all	〇		
	Standby all	〇		
	Record start all	〇	〇	〇
	Record stop all	〇	〇	〇
	Edit group	〇		
	Delete group	〇		
EasyIP タブ				
機能へのアクセス		〇		